

熊本再春医療センター3階病棟シャワー室改修工事

[illegible]

[illegible]

[illegible]

5建築改修工事

○鋼製軽量建具

性能値等

[5.2.2][5.5.2~4]

簡易気密型ドアセット・適用する(建具符号:・)・適用しない(建具符号:・)防音ドア・防音サッシ透音性の等級(・)(建具符号:・)断熱ドア・断熱サッシ断熱性の等級(・)(建具符号:・)耐震性能建築非構造部材の耐震性能に係る特記事項による

材料鋼板・亜鉛めっき鋼板・ビニル被覆鋼板・カラー鋼板・ステンレス鋼板・ステンレス鋼板※SUS304、SUS430J1L、又はSUS443J1・召合わせ、縦小口包み板の仕様※鋼板・ステンレス製のくつずりの仕上げ※HL・形状及び仕上げ鋼板類の厚さ※改修標準仕様書表5.5.11によるmm使用箇所(・)標準型鋼製軽量建具の形式及び寸法○図示による

・ステンレス製建具

性能値等

[5.2.2][5.4.2][5.6.2~6]

簡易気密型ドアセット・適用する(建具符号:・)・適用しない(建具符号:・)外部に面する建具の耐風圧性耐風圧性の等級(・)(建具符号:・)防音ドア・防音サッシ透音性の等級(・)(建具符号:・)断熱ドア・断熱サッシ断熱性の等級(・)耐震性能建築非構造部材の耐震性能に係る特記事項による

材料ステンレス鋼板※SUS304、SUS430J1L、又はSUS443J1・ステンレス製のくつずりの仕上げ※HL・形状及び仕上げ表面仕上げ※HL・鋼面仕上げ工法ステンレス鋼板の曲げ加工※普通曲げ・角出し曲げ

・木製建具

建具材の加工、組立時の含水率※A種・建物内部の木製建具に使用する接着剤のホルムアルデヒド放散量※F☆☆☆☆・フラッシュ戸表面材のホルムアルデヒド放散量等※改修標準仕様書5.7.2(2)(f)(a)による・表面材の合板の種類

合板の種類	規格等	備考
・普通合板	表面の樹種・板面の品質(※広葉樹1等)・接着の程度(・1種・2種)	
・天然木化粧合板	樹種名(・)・接着の程度(・1種・2種)	
・特殊加工化粧合板	化粧加工の方法※プリント・ポリエステル化粧合板・メラミン化粧合板・接着の程度(・1種・2種)	
・WDF		

・表面板の厚さ※改修標準仕様書表5.7.6による・引戸の召合せかまちのいんうけの適用・適用しない・適用する

○器具用金物

金物の種類及び見え隠り部の材質等※改修標準仕様書表5.8.1による・金製建具に使用する丁番の枚数及び大きさ※改修標準仕様書表5.8.2による・樹脂製建具に使用する丁番の枚数及び大きさ※改修標準仕様書表5.8.3による・木製建具に使用する丁番の枚数及び大きさ※改修標準仕様書表5.8.4による・木製建具に使用する戸車及びレール※改修標準仕様書表5.8.5による・握り玉、レバーハンドル、押板類、クレセントの取付け位置・シリング箱錠及びシリング本脚まり錠(品質・性能、試験方法は別表による)クローザ類(品質・性能、試験方法は別表による)

・錠

マスターキー・製作する・製作しない・既存のマスターキーに合わせるその他の錠の製作本数※各室3本1組(室名札付き)・施錠・無し・有り

・自動ドア開閉装置

戸の開閉方式・引き戸用駆動装置性能値※改修標準仕様書表5.9.1による(防鎖・適用する・適用しない)・以下による種類・開閉方式(・)(・)耐電圧(・)(・)温度上昇(・)(・)耐久性(サイクル)(・)(・)防錆(・)(・)電源(・)(・)・車椅子使用費用便所出入口引き戸用駆動装置性能値※改修標準仕様書表5.9.2による(防鎖・適用する・適用しない)・以下による耐電圧(・)(・)温度上昇(・)(・)耐久性(サイクル)(・)(・)防錆(・)(・)電源(・)(・)・引き戸用検出装置性能値※改修標準仕様書表5.9.3による(防鎖・適用する・適用しない)・以下による耐電圧(・)(・)防錆(・)(・)防滴(・)(・)電源(・)(・)引き戸用検出装置の種類及び必要性性能項目・タッチスイッチの種類・無線式タッチスイッチ・光線式タッチスイッチ車椅子使用者用専用スイッチの種類・大形押しボタンスイッチ・非接触スイッチ凍結防止措置・行う・行わない

・自閉式上吊り引戸装置

性能値等※改修標準仕様書表5.10.1・以下による手動開き力(・)(・)手動閉じ力(・)(・)閉じ速度の調整(・)(・)制動反応(・)(・)開閉速度し(・)(・)耐衝撃性(・)(・)

・重量シャッター

シャッターの種類・管理用シャッター・外装用防火シャッター・屋内用防火シャッター・防煙シャッター外装開口部に設ける重量シャッターの耐風圧強度(・)Pa開閉方式の種類※電動式(手動併用)・手動式安全装置電動式シャッターの急降下制動装置、急降下停止装置設置箇所・電動式シャッターの障害物感知装置設置箇所・屋内用防火シャッター若しくは防煙シャッターの危害防止装置設置箇所・管理用シャッターのシャッターケース・設ける・設けないスラット及びシャッターケース用鋼板鋼板の種類・JIS G 3302(溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯)・JIS G 3312(塗装溶融亜鉛めっき鋼板鋼帯)めっきの付着量※Z12又はF12・ガイドレール、まぐさ、両掛りに用いる産板及び産板のカバー、両掛りに用いるスイッチボックス類のふたの材質ステンレス鋼板※SUS304、SUS430J1L、又はSUS443J1

・軽量シャッター

開閉方式の種類・電動式(手動併用)耐風圧強度(・)Pa安全装置電動式シャッターの障害物感知装置設置箇所・スラットの材質の種類・JIS G 3312(塗装溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯)めっきの付着量(※Z06又はF06)・JIS G 3322(塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板及び鋼帯)めっきの付着量(※A280)スラットの形状・インターロッキング形・オーバーラッピング形

・オーバーヘッドドア

セクション材料による区分耐風圧性能区分閉閉方式による区分収納形式による区分ガイドレールの材料※スチールタイプ・アルミニウムタイプ・ファイバーグラスタイプ・50・75・100・125※バランス式・チェーン式・電動式・スタンダード形・ローヘッド形・ハイリフト形・バーチカル形

電動式オーバーヘッドドアの障害物感知装置設置箇所

・ガラス

・フロート板ガラスの品種及び厚さの呼びによる種類・型板ガラスの厚さによる種類・網入板ガラス及び網入板ガラスの網又は線の形状、板の表面の状態及び厚さの呼びによる種類・合わせガラス材料板ガラスの種類及び厚さの組合せ並びに合わせガラスの合計厚さ・落球衝撃若しくは融着並びにショットバック衝撃特性による種類・1種・Ⅱ-1種・Ⅱ-2種・Ⅲ種・強化ガラス形状による種類、材料板ガラスの種類による名称・破片の状態及びショットバック衝撃特性による種類・1種・Ⅲ種

・ガラスブロック

ガラスの割め寸及び溝の大きさ

建具の種類	ガラス板の材	ガラス溝の大きさ(mm)
アルミニウム製	・シーリング材・グレイジングチャンネル	※建具の製造所の仕様による・図示による
鋼製及び鋼製軽量	・シーリング材	※建具の製造所の仕様による・図示による
ステンレス製	・シーリング材	※建具の製造所の仕様による・図示による
出張製	・グレイジングガスケット	※建具の製造所の仕様による・図示による

・ガラス用フィルム

独立行政法人
国立病院機構

熊本再春医療センター

建築改修工事特記仕様書(その4)

縮尺

—

令和7年7月

独立行政法人
国立病院機構

熊本再春医療センター3階病棟シャワー室改修工事

縮尺

—

令和7年7月

独立行政法人
国立病院機構

熊本再春医療センター3階病棟シャワー室改修工事

縮尺

—

令和7年7月

R6.4 独立行政法人国立病院機構

7

建築改修工事

・ 建築

変装の種類

変装面

変装え

新規

・合成樹脂調合ペイント塗り (SOP)

変装の種類

※1種

・2種

・クリヤラッカー塗り (GL)

・アクリル樹脂系非水分散形塗料塗り (NAD)

・耐候性塗料塗り (DP)

・つや有合成樹脂エマルジョンペイント塗り (EP-G)

・合成樹脂エマルジョン模様塗料塗り (EP-T)

・ウレタン樹脂ニス塗り (UD)

・ステイン塗り

・木材保護塗料塗り (NP)

つや有合成樹脂エマルジョンペイント塗り (2つツツ面、模様面、せっこうツツ面、せっこうツツ面、その他ツツ面) の塗替えのしき止め

※B種又はC種の場合は、改修標準仕様書表7.9.1の工程1の下塗りをしき止めシーラーとする

合成樹脂エマルジョンペイント塗りの塗替えのしき止め

※改修標準仕様書表7.10.1の工程1の下塗りをしき止めシーラーとする

・高反射率塗料塗り

下地調整 (改修標準仕様書表7.2.2)

※B種

・R種

・RC種

工程

塗料その他

塗付量

塗料塗り

JIS K 5675

2種

塗料製造所の仕様による

クリヤラッカー塗りA種の工程2の適用

・適用しない

・適用する (着色剤：・溶剤系着色剤・油性塗料着色剤)

ウレタン樹脂ニス塗りの工程1の着色の適用

・適用する

・適用しない

オイルステイン塗りの工程等

・

8

改修特記仕様書 (その7) (その8) による

9

環境配慮改修工事

・ 石綿含有建材の除去工事

調査

※石綿含有建材の事前調査

工事着手に先立ち、あらかじめ関係法令に基づき、石綿含有建材の事前調査を行う。

調査資料 ()

・分析による石綿含有建材の調査

分析対象

アクリノライト、アモサイト、アンソフィライト、クリソタイル、クロシドライト、トリモライト

分析方法

材料名

定性分析方法

定量分析方法

・ (箇所)

・ (箇所)

・ (箇所)

サンプル数

1箇所あたり3サンプル

採取箇所

・ 明示による

・ 石綿びじん濃度測定

測定時期、場所及び測定点

適用

測定名称

測定時期

測定場所

測定箇所数

測定 1

処理作業前

処理作業室内

・計

点

測定 2

処理作業前

調査対象室外部の付近

・計

点

測定 3

処理作業中

処理作業室内

・計

点

測定 4

処理作業中

セキユリテーパーゾーン入口

・計

点

測定 5

処理作業中

灰じん・排気装置の排出口 (処理作業室外の場合)

出口吹出し風速1m/s以下の位置

・計

点

測定 6

処理作業中

処理作業室内

・施工区画周辺

・敷地境界

・計

点

測定 7

処理作業後 (シート養生中)

処理作業室内

・計

点

測定 8

処理作業後 (シート養生中)

処理作業室内

・計

点

測定 9

処理作業後 (シート養生中)

調査対象室外部の付近

・計

点

測定方法

・自動測定器による測定

測定名称

測定方法

測定 4

測定 5

・ JIS K 3850-1に基づいた測定

測定名称

メンブレンフィルタ

試料の吸引質量

試料の吸引時間

測定 4

測定 5

測定 4

測定 5

石綿含有建材の処理

・石綿含有吹付け材の除去

除去対象範囲

・ 明示による

除去方法

※改修標準仕様書9.1.3 (2) ①による

・ 除去した石綿含有吹付け材等の飛散防止措置

※湿潤化・固形化

・ 除去した石綿含有吹付け材等の処分

・ 埋立処分 (管理型最終処分場)

・ 中間処理 (溶融施設又は無害化処理施設)

・石綿含有保温材等の除去 (石綿含有けい酸カルシウム板第一種を含む)

除去対象範囲

・ 明示による

除去方法

・ 破壊して除去

・ 手ばらし

・ 除去した石綿含有保温材等の飛散防止

※湿潤化・固形化

・ 除去した石綿含有保温材等の処分

・ 埋立処分 (管理型最終処分場)

・ 中間処理 (溶融施設又は無害化処理施設)

・石綿含有成形板 (石綿含有けい酸カルシウム板第一種) の除去

除去対象範囲

・ 明示による

除去方法

・ 破壊して除去

・ 手ばらし

・ 除去した石綿含有保温材等の飛散防止

※湿潤化・固形化

・ 除去した石綿含有保温材等の処分

・ 埋立処分 (管理型最終処分場)

・ 中間処理 (溶融施設又は無害化処理施設)

・石綿含有成形板 (石綿含有けい酸カルシウム板第一種以外) の除去

除去対象範囲

・ 明示による

除去方法

・ 破壊して除去

・ 手ばらし

・ 除去した石綿含有保温材等の飛散防止

※湿潤化・固形化

・ 除去した石綿含有保温材等の処分

・ 埋立処分 (管理型最終処分場)

・ 中間処理 (溶融施設又は無害化処理施設)

・石綿含有仕上塗り又は石綿含有成形板 (下地調整材) の除去

除去対象範囲

・ 明示による

除去方法

・ 養生方法

・ 除去した石綿含有仕上塗材の処分

・ 埋立処分 (管理型最終処分場)

・ 中間処理 (溶融施設又は無害化処理施設)

石綿含有建材除去後の仕上げ工事

・ 明示による

改修特記仕様書3章による。

・ 断熱アスファルト防水改修工事

・ 外断熱改修工事

断熱材の種類

断熱材の厚さ (mm)

施工箇所

・ 明示による

ホルムアルデヒド放散量

※F☆☆☆☆

外装材

種類

防火性能

備考

鋼材

改修特記仕様書第3章 8-3 鉄骨工事

鋼材による。

塩害

改修特記仕様書第3章 アルミニウム製笠木による。

既存外壁の処理

・ 行う

・ 行わない

下地面の清掃

・ 行う

・ 行わない

欠損部の改修方法

・ 改修特記仕様書第4章 外壁改修工事による

工法

1章 適用区分による風圧力の (・1・1.15・1.3) 倍の風圧力に対応した工法

不陸等の下地調整

断熱材の施工

・ 断熱材製造所の仕様による

外装材の施工

・ 外装材製造所の仕様による

通気層の有無

・ 有 (mm)

・ 無

外装材の外壁への取付け

・ 明示による

笠木の施工

・ 改修特記仕様書第3章 アルミニウム製笠木による

・ 断熱・防水改修工事

フェノールフォーム断熱材又は保温材、接着剤のホルムアルデヒド放散量

※F☆☆☆☆

開口部等補修のための補付け用の接着剤のホルムアルデヒド放散量

※F☆☆☆☆

工法

・ 断熱材打込み工法

断熱材 JIS A 9521に基づく発泡プラスチック断熱材

種類

厚さ (mm)

施工場所

・ 断熱材現場発泡工法

断熱材の種類

・ A種1

・ A種1b

吹付け厚さ (mm)

・ 25

・ 30

施工箇所

・ 明示による

・ 断熱材張り工法

断熱材 JIS A 9521に基づく発泡プラスチック断熱材

種類

厚さ (mm)

・ 断熱材にせっこうボード等を張り付けたパネル

材 質

厚さ (mm)

・ 張り付け工法

断熱材の張り付け工法

断熱材へのボードの張付け工法

・ 屋上緑化改修工事

植栽土壌及び材料

・ 屋上緑化軽量システム

芝及び地被類の種類等

※ 明示による

見切り材、鉢栽培、排水孔、マルチング材等

※ 明示による

(品質・性能、試験方法は別表による)

工法

1章 適用区分による風圧力の (・1・1.15・1.3) 倍の風圧力に対応した工法

かん水装置

・ 設置する (種類・)

既存保護層の撤去

・ 行う

・ 行わない

新設した芝及び地被類の植栽の期間

※引渡しの日から1年

・

・ 透水性アスファルト舗装改修工事

適用範囲：歩道

既存舗装の撤去及び再利用

※ 明示による

路床

路床の材料

種別

材料

厚さ (mm)

・ 盛土

・ 再生クワツヤラン

・ クラツヤラン

・ 切込み砂利

・ 砂

・ 濾上抑制層

・ 砂

・ フィルター層

・ 砂

(濾上抑制層に用いる材料に砂を用いる場合の粒度試験)

・ 行う

・ 行わない

・ 提供安定処理

・ 適用する

・ 適用しない

安定処理の方法

・ 置き換え工法

・ 安定処理工法

路床安定処理用添加材料

種類

・ 普通ポルトランドセメント

・ 高炉セメントB種

・ フライアッシュセメントB種

・ 生石灰 (・特等・1号)

・ 消石灰 (・特等・1号)

添加量

・ kg/m³ (目標CBR・3以上)

・ 目標CBRを満足する添加量の確認方法

・ 安定処理土のCBR試験

・ ジオテキスタイル

単位面積質量

・ 60g/m²以上

厚さ (mm)

・ 0.5~1.0

引張強さ

・ 98N/5cm (10kgf/5cm) 以上

透水係数

・ 1.5×10⁻³cm/sec以上

試験

路床土の支持力比 (CBR) 試験

・ 行う

・ 行わない

路床締め度の試験

・ 行う

・ 行わない

現場CBR試験

・ 行う

・ 行わない

路盤

路盤の厚さ

・ 明示による

路盤材料 (改修標準仕様書表9.7.3による種別)

・ クラツヤラン

・ 粒度調整砕石

・ 再生クワツヤラン

・ 再生粒度調整砕石

・ クラツヤラン/鉄鋼スラグ

・ 粒度調整鉄鋼スラグ

・ 水硬性粒度調整鉄鋼スラグ

路盤の構成

・ 明示による

開粒度アスファルト混合材等の抽出試験

・ 行う

・ 行わない

路盤の平坦性

※著しい不陸がないもの

・

病院名

熊本再春医療センター

工事名

熊本再春医療センター3階病棟シャワー室改修工事

図面名

建築改修工事特記仕様書 (その7)

縮尺

—

No.

A-07

令和 7年 7月

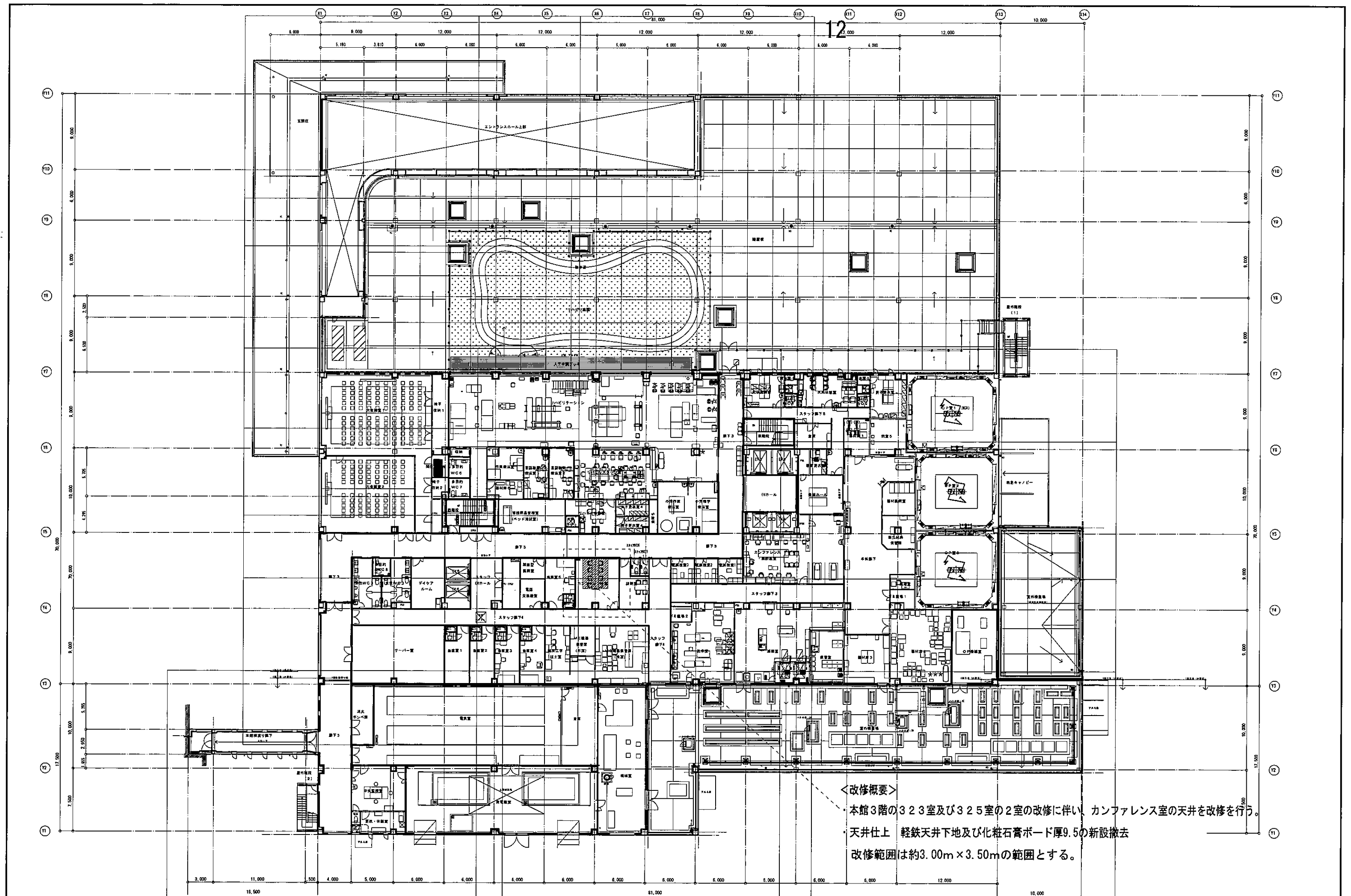
独立行政法人

国立病院機構

㈱本田設計コンサルタント

令和 7年 7月

R6.4 独立行政法人国立病院機構



工事名称

熊本再善医療センター3階病棟シャワー室改修工事

株式会社 本田設計コンサルタント

熊本県知事登録 第1805号
一級建築士 本田 直也 第349038号

縮尺 A1=1/200
A3=1/400

日付

2025.07

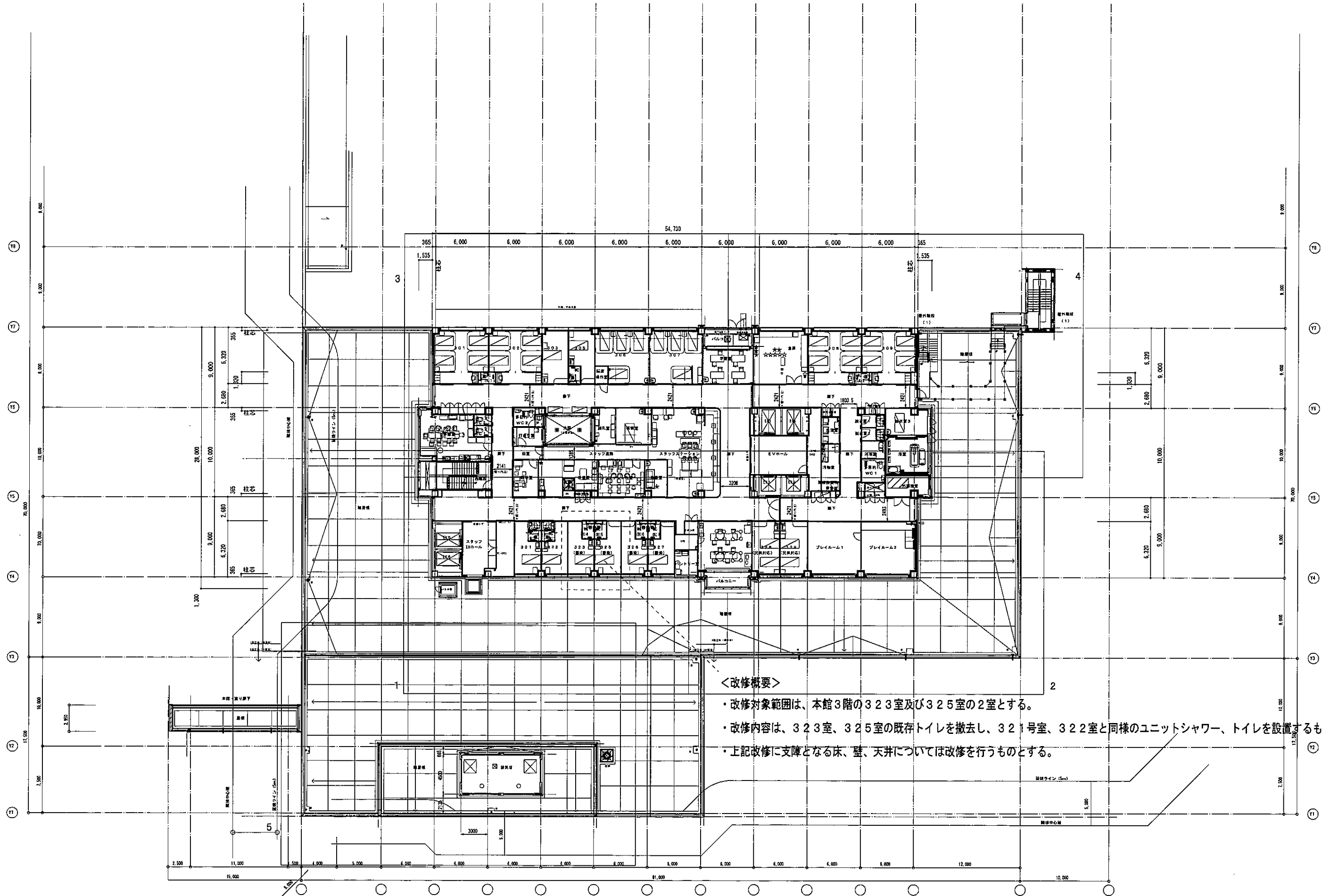
図面名称

既存2階平面図

番

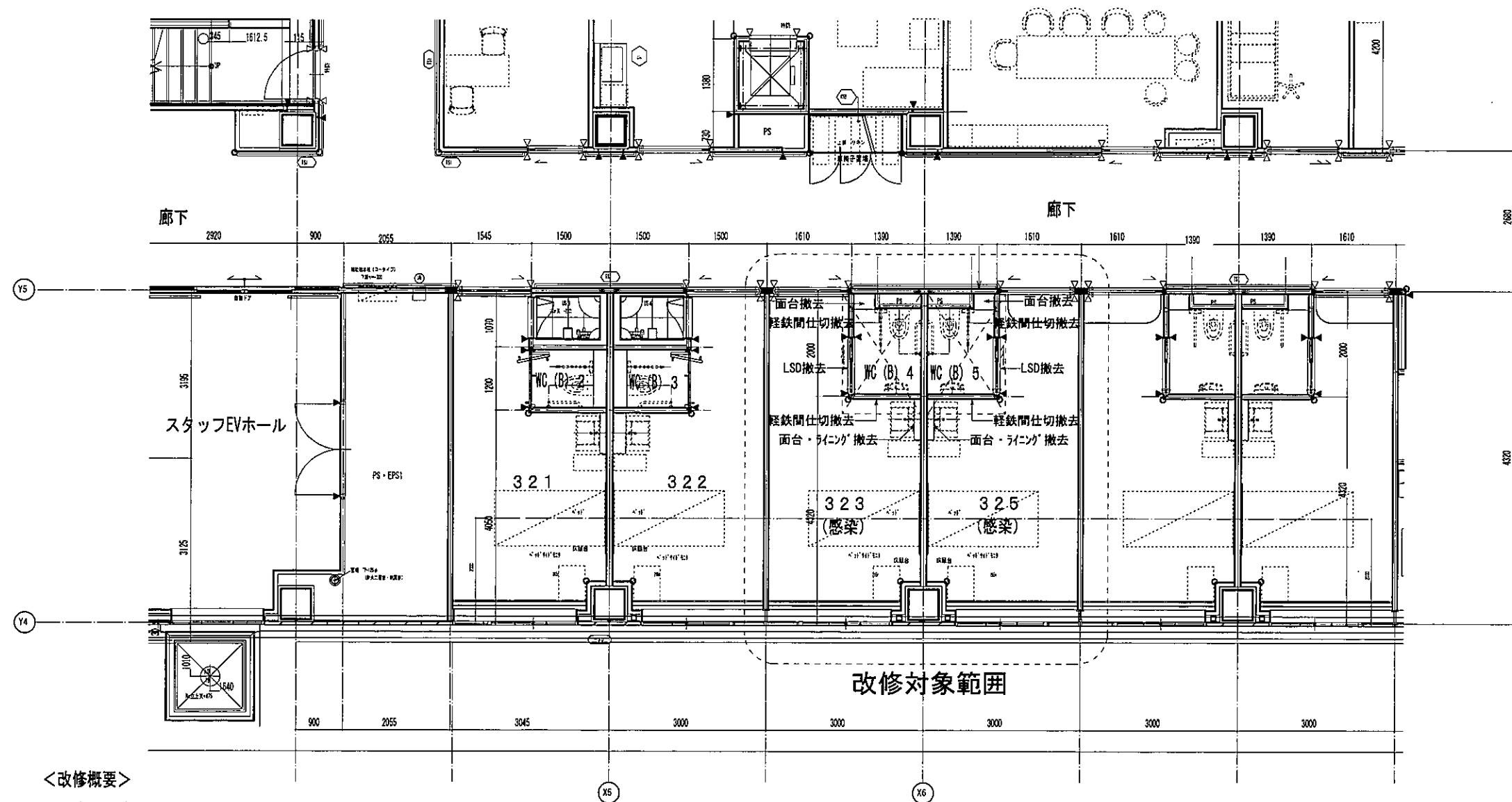
A-09

印



<改修概要>

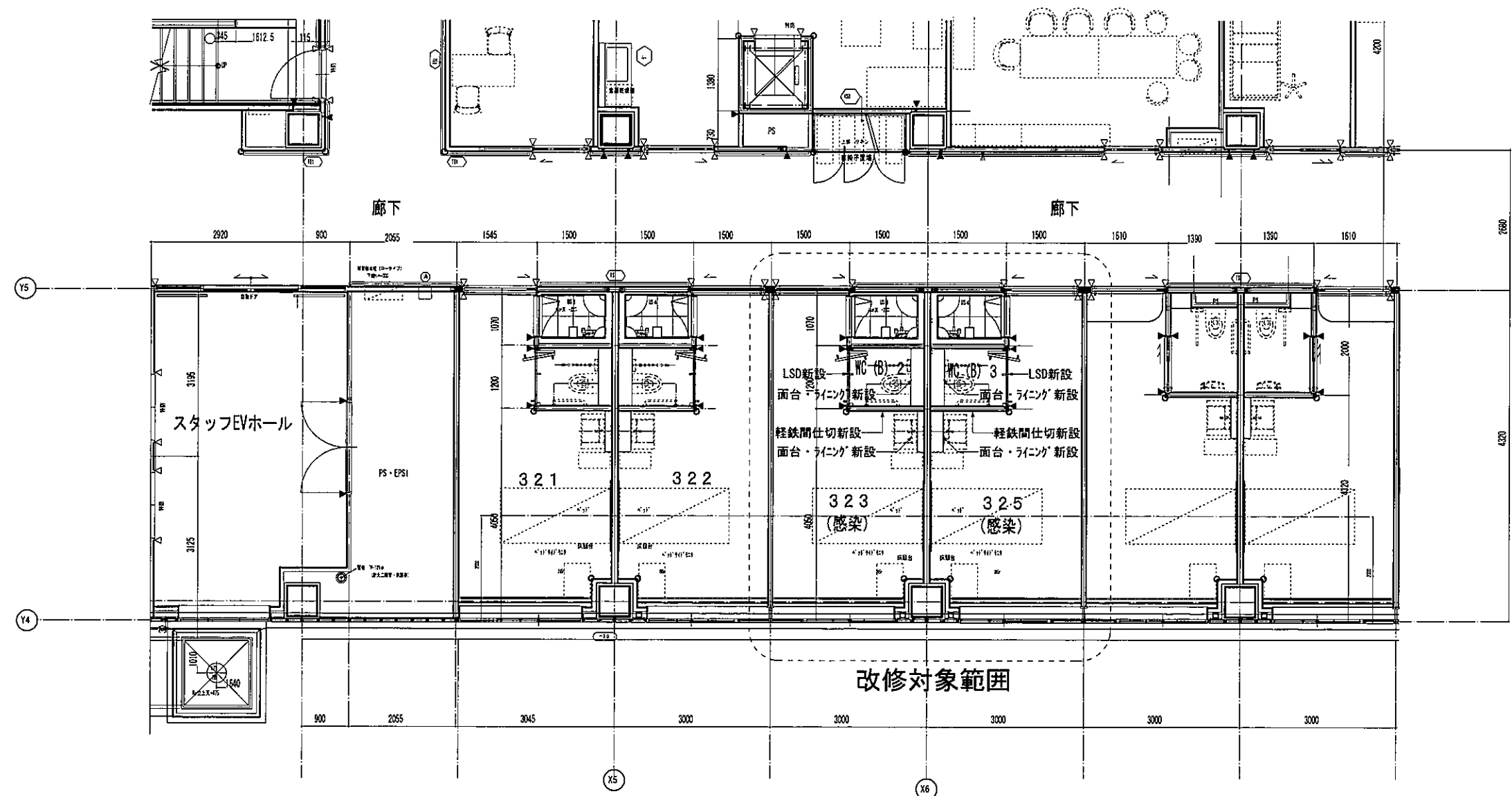
- ・改修対象範囲は、本館3階の323室及び325室の2室とする。
- ・改修内容は、323室、325室の既存トイレを撤去し、321号室、322室と同様のユニットシャワー、トイレを設置するものとする。
- ・上記改修に支障となる床、壁、天井については改修を行うものとする。



<改修概要>

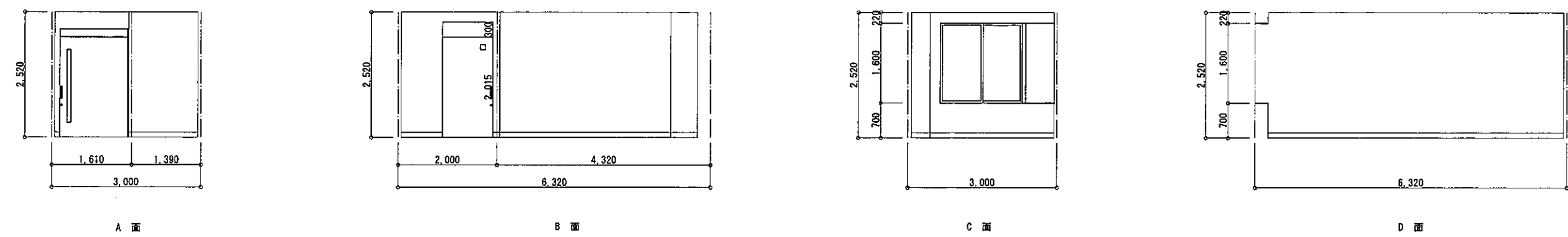
- ・改修対象範囲は、本館3階の323室及び325室の2室とする。
- ・改修内容は、323室、325室の既存トイレを撤去し、321号室、322室と同様のユニットシャワー、トイレを設置するものとする。
- ・上記改修に支障となる床、壁、天井については改修を行うものとする。
- ・上記改修に支障となるカーテンル、備品等は取外し再設置を行うものとする。

■ 解体リスト (WC (B) 4) (WC (B) 5)	
床	塩ビシート (撤去)
巾 木	ソフト巾木 (撤去)
壁	軽鉄間仕切下地 (撤去) + せっこうボード厚12.5 2重張 (撤去) + ビニルクロス (撤去)
天 井	軽鉄天井下地 (撤去) + せっこうボード厚12.5 (撤去) + ビニルクロス (撤去)
天井高	CH=2520
備 考	LSD撤去 2ヶ所
	面台・ライング 撤去
	面台撤去

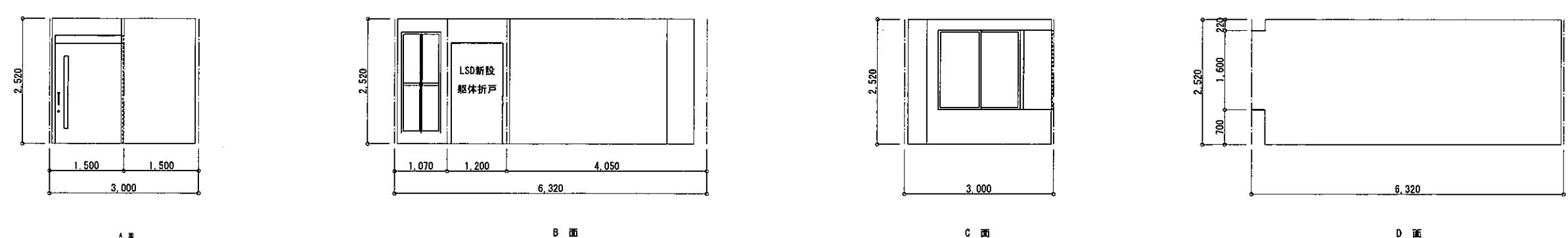


■改修リスト (WC (B) 2) (WC (B) 3)	
床	塩ビシート (新設)
巾 木	ソフト巾木 (新設)
壁	軽鉄間仕切下地 (新設) + せっこうボード厚12.5 2重張 (新設) + ビニルクロス (新設)
天 井	軽鉄天井下地 (新設) + せっこうボード厚12.5 (新設) + ビニルクロス (新設)
天井高	GH=2520
備 考	LSD新設 2ヶ所 (コマニー 躯体折戸同等品以上 800×2099 表面材: 化粧鋼板 枠: 錆止め OP塗 非常外開き使用 型ガラス)
	面台・ライニング 新設
	面台新設

展開図（改修前）



展開図（改修後）



機械設備工事特記仕様書

1 工事概要

1 工事名 熊本再幸医療センター3階南棟シャワー室改修工事

2 工事場所 熊本県合志市須屋2659

3 工期 (●印の付いたものを適用する)

○着工 令和 年 月 日 完成期限 令和 年 月 日

○部分完成 完成期間 令和 年 月 日

指定部分 令和 年 月 日

●建築工事特記仕様書による。

4 発注方式 (●印の付いたものを適用する)

●総合発注

○分離発注 (○機械設備工事 ○衛生設備工事 ○空調設備工事)

○単独発注

5 設備概要 (●印の付いたものを適用する事)

設備名称	仕様	備註	建築基準法上 延床面積 (㎡)	消防法施行令 別表第一の区分	工事種別	備考
本館棟	S造	8階	2,018.2	(6) 項のイ	○新築 ○増築 ●改修	
					○新築 ○増築 ○改修	
					○新築 ○増築 ○改修	
					○新築 ○増築 ○改修	
					○新築 ○増築 ○改修	

6 工事種目 (●印の付いたものを適用する事)

設備名称及び屋外	本館棟	設備種別	屋外
空調調和設備	●		
換気設備	●		
排煙設備	○		
自動制御設備	○		
衛生器具設備	●		
給水設備	●		
排水通気設備	●		
給湯設備	●		
消火設備	○		
ガス設備	○		
医療ガス設備	○		
し尿浄化槽設備	○		
R1処理設備	○		
特殊排水処理設備	○		
搬去工事	●		

7 既存施設設備概要 (●印の付いたものを適用する)

方式及び種別	設備概要
給水方式	水 源 (○公共上水道 ●井水 ○) 給水方式 (●高圧水塔方式 ●加圧給水方式 ○) 配管方式 (○2管式 (飲用水・雑用水) ●1管式)
排水方式	直接非放流式 (1) 汚水 (●公共下水道 ○L昇浄化槽) (2) 雑排水 (●公共下水道 ○L昇浄化槽) 排水処理設備 ○医療用排水処理設備 (○中和処理 ○) ○感染性排水処理設備 (○高濃消毒 ○蒸気滅菌 ○) ○R1排水処理設備
ガスの種類	○都市ガス (種別 高圧熱容量 MJ/m ³ (N)、低圧熱容量 MJ/m ³ (N)) 供給圧力 Pa、供給事業者名 ガス側 ●液化石油ガス

[illegible]

共通仕様																		
(1) 図面及び本特記仕様書に記載されていない事項は、下記による。																		
公共建築工事標準仕様書(機械設備工事編)(最新版)(以下「標準仕様書」という。)																		
公共建築改修工事標準仕様書(機械設備工事編)(最新版)(以下「改修標準仕様書」という。)																		
公共建築設備工事標準仕様書(機械設備工事編)(最新版)(以下「標準図」という。)																		
(2) 電気設備工事及び建築工事と本工事を含む場合、電気設備工事及び建築工事はそれぞれの工事仕様書																		
を適用する。																		
2. 特記事項																		
●印の付いたものを適用し、○印の付いたものは適用しない。																		
章	項	特記事項																
●一般共通事項	●工事関係書類	工事関係書類の作成においては「工事関係書類一覧及び参考書類」を使用すること。 工事関係書類の具体的な作成方法は、「工事関係書類作成要領」による。 (国立病院機構ホームページからダウンロードすること。)																
	●請負代金内訳書	設計変更がある場合は、完成日までに設計変更を反映した請負代金内訳書提出すること。																
	●機 器 仕 様	本工事に使用する機器は、全て以下の仕様とする。 ●メーカー標準仕様(左記が○の場合は、公共建築工事標準仕様とする。) なお、各機器の詳細仕様は各機器による。																
	●機 材 等	本工事に使用する機材等は、設計図書に定める品質及び性能を有するもの又は同等のものとする。ただし、同等のものとする場合は、あらかじめ監督職員の承認を受ける。																
	○技術検査	実施回数 回以内 実施段階 ()																
	●電気保安技術者	適用する																
	●技能士の適用	●配管施工(配管工事) ●建築衛生工(ダクト製作及び取付け) ●断熱施工(保温工事)																
	●監督職員事務所	○冷凍空調設備施工(チリングユニット・パッケージ型空調機の据付け及び整備) ○設ける () 構内に新設する ○既存建物の一部を利用する 規模 () 0.10 m ○ 0.20 m ○ m ² 構造 () ○設けない(ただし、打合せのできるスペースを確保すること。)																
	●設 計 図	●建築工事特記仕様書による。 ○設計図面縮小版() A3 判 ○ 判、() 部 () 部を背貼紙本の上、監督員に提出する。印刷・製本費用は発注者の負担とする。 (大等になる場合は発注者とする。表紙及び背表紙には「年度」、「発注者」、「工事名」、「工事区分」を記載し、「設計図」との表記をすること。詳細は監督職員の指示による。)																
	●施 工 図 書	●建築工事特記仕様書による。 事前調査 ●本工事 ●別途 調査内容 調査項目 ●現状の状況 調査範囲 ○明示 ○ 調査方法 ○明示 ○																
	●足場その他	○別契約の関係受注者が設置したものは無償で使用できる。 ●本工事で設置する。 「手すり先行工法に関するガイドライン」に基づく足場の設置に当たっては、両ガイドラインの別表1「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」における2の(2)手すり設置方法又は(3)手すり先行専用設置方法により行う。 ○内部足場() 横 ○ 横 ○ 外部足場() 横 ○ 横																
●官公署への手続き		工事施工に伴う官公署への工事着手、施行、完成に当たり、関係官公署その他の関係機関への必要な届出申請等を遅滞なく行うこと。 なお、届出手続き等の費用は、受注者の負担とする。 (完成検査手数料、中間検査手数料、昇降機設計図通知・検査手数料等を含む) 既存部分の養生は、改修標準仕様書第1編3章による。 構内既存設備 ●利用できる(●有償○無償) ○利用できない 構内既存設備 ●利用できる(●有償○無償) ○利用できない 構内につくることが(●できる○できない) ○構内敷なし ○構内設置場所へのたい積 ○構外搬出(約 km) ○構内土中の敷設土 (○値し、コンクリート管以外の管の周囲は山砂の積) ○山砂の積																
●配 管 工 等		工事が完成(指定部分に係る完成を除く)したときは、本工事で作成する施工図等のうち、次の原因及びその被害図(1部)を監督職員に提出する。ただし、製作等で作成し提出できないものは、図面に代わるものとしてよい。 なお、施工図等の著作権に係る当該建築物に限る使用権は、発注者に移譲する。 機 器 製作図 一式 制御システム図 一式 試験成績書 一式 機 器・配管固定の施工図 一式																
●機 材 等 の 品 質 性 能 証 明		設備機材は、設計図書に定める品質及び性能を有することの証明資料又は外部機関等が発行する資料等の写しを監督職員に提出して承認を受ける。 なお、標準仕様書に規定される製作図、試験成績表等を含む。																
●機 材 の 検 査 及 び 試 験		検査及び試験を行うべき機材等、標準仕様書及び改修標準仕様書による。																
●工 事 写 真		次のものを監督職員に提出する。																
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>分 類</th><th>規 格</th><th>撮 影 枚 数</th><th>提出部数</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>施 工 前</td><td>電子データ(「B」)</td><td>各現場等3以上</td><td>1</td></tr> <tr> <td>工事施工進捗状況</td><td>電子データ(「B」)</td><td>1/月以上</td><td>1</td></tr> <tr> <td>工 事 中</td><td>電子データ(「B」)</td><td>各監理項目等3以上</td><td>1</td></tr> </tbody> </table>	分 類	規 格	撮 影 枚 数	提出部数	施 工 前	電子データ(「B」)	各現場等3以上	1	工事施工進捗状況	電子データ(「B」)	1/月以上	1	工 事 中	電子データ(「B」)	各監理項目等3以上	1
分 類	規 格	撮 影 枚 数	提出部数															
施 工 前	電子データ(「B」)	各現場等3以上	1															
工事施工進捗状況	電子データ(「B」)	1/月以上	1															
工 事 中	電子データ(「B」)	各監理項目等3以上	1															
●完 成 図 等		国土交通省大臣官房官庁業務標準仕様「建築工事写真撮影要領(最新版)」による。 ●提出資 原 図 ●A1 1部 白コピー製本 ●A1 1部 ○縮小図 2部 C A D データ ●美 ○不美 (保存形式・媒体は監督職員の指示による) 電子データ ●P D F 形式 提出媒体 ●C D - R または O V D - R 1部 ○既成完成図(C A D データ)の修正を行う。																

分 類	規 格	撮影箇所・枚数	提出部数
カラー	キヤビネ特 (デジカメ可)	監督職員の指示による	2

● 保全に関する資料
及び建築物の利用に関する説明書

● 総 合 調 査

● 本工事 ○別途

調査項目 (測定箇所等は監督職員の指示による。)

○風速調査 ○水量調査 ○室内外空気の温度の測定
○室内気湿及びじんあいの測定 ○騒音の測定 ●飲料水の水質の測定
○純用排水の水質の測定
○空気清浄度測定 (清浄度クラスⅠ～Ⅲが指定されている場所)
測定箇所は監督職員の指示による。尚、総合調査にあたっては、計算値を上回る
値でなく、省エネルギーを増進した適正な値に調整する。特に換気風量につ
いては、建物全体のエネルギー使用量に与える影響が大きい。設計風量の＋
5%以内程度を目処に調整する事。

● 電 動 機

● 電気周波数
● 電圧等の表示

● 耐震措置

換気扇、圧力風及び循環性構造に搭載なく特記のないものの電動機の保護規格は、
製造者規格による標準品としてよい。

● 60Hz ● 60Hz

(1) 換気扇の能力、容量等は表示された数値以上とする。

(2) 電動機出力、燃料消費量、圧力損失等は、原則として表示された数値以下とする。

設備機器の調定は、次に示す事項を除き、すべて建築設備設計・施工指針最新版
(国土交通省国土研究所総合研究所・独立行政法人建築研究所監修)による。

(1) 機器の受け及び取付け

設計用水平地震力は、機器の質量 (自由表面を有する水櫃その他の付帯) にあ
っては有効質量) に、地球係数1.0及び次に示す設計用標準水平地震度を乗じた
ものとする。

	機 器 種 別	● 特定の施設		○ 一般の施設	
		重要機器	一般機器	重要機器	一般機器
上 層 階	機 器	2.0	1.5	1.5	1.0
上 上 及 び	防振支持の機器	2.0	2.0	2.0	1.5
階	風 水 櫃 類	2.0	1.5	1.5	1.0
中 間 階	機 器	1.5	1.0	1.0	0.6
	防振支持の機器	1.5	1.5	1.5	1.0
	水 櫃 類	1.5	1.0	1.0	0.6
地 層 ・ 1 階	機 器	1.0	0.5	0.5	0.4
	防振支持の機器	1.0	1.0	1.0	0.6
	水 櫃 類	1.5	1.0	1.0	0.6

※病院は特定の施設とし、それ以外は一般の施設とする。

・上層階とは2～6階建の場合は最上層、7～9階建の場合は上層2階、
10～12階建の場合は上層3階、13階以上の場合は上層4層とする。

・中間階とは地階、1階を除く各階で上層階に該当しないものとする。

・機器等の種の「機器」は、防振設置機器、水櫃類以外の機器を示す。

・重要機器は次のものを示す。

○給水機器 () ○排水機器 ()
○換気機器 ○空調機器 ○防振機器 ○防災機器
○監視制御設備 ○危険物貯蔵施設 ○火を使用する設備
○避難経路上に設置する機器

(2) 設計用約地地震力は、設計用水平地震力の1/2とする。

(1) 地中建設機 表 (図示による)

(2) 埋設表示テープ 表 (排水管を除く)

(1) 建築物等導入部の貫通吸収方法は、標準図 (建築物等導入部の貫通吸収設置要領)
による。○(a) フレキシブルジョイント ○(b) ボールジョイント ○(c) スリークッション

(2) 埋設部の非破壊検査 ○不要 ○要 ()

● 試 験

既設配管を含む部分の試験 ○要 (方法及び圧力:)
●不要

● 保 護

標準仕様書第2編によるほか次に示す。ただし、各工事項目で別に指定されたもの
は除く。

○多湿箇所は下記による。

室名: ○共同浴室内の浴室は別による。

ダクト: 配管:

(1) 次の金属電線管は変換を行う。(○屋内露出 ○)
(2) 次の露出部分の変換めっき面の変換は行わない。
○配管 (○駐車場 ○)
○ダクト (○駐車場 ○)

● コンクリート工事

コンクリートの設計標準強度は (○ 21 N/mm² ○ 18 N/mm²)
とし、スラブは18 mm以下とする。

穿孔保護は使用し既存躯体に穿孔する場合は、金属製はにより電気供給が停止できる付属装置等
を用いて施工する。なお、図面に特記のない場合はダイヤモンドカッターによる。

放射線透過検査等による埋設物の調査は (○要 ○不要) とする。

図面は監督職員の指示による。尚、検査費は本工事を含む。

() 書きの室名は居室を示し、その他は二重天井を示す。

図面に特記なき場合は、別表1「工事区分表」による。

電線及びEMケーブルは標準仕様書第4編1. 5. 1表4. 1. 11による。

(1) 放射線防護区画を貫通する配管、ダクト等は、JIS S H 4301
(鉛及び亜鉛板) により放射線が透過しない法律 (グリーン購入法) に基づき、
なお、厚みは (○2mm ○mm) とする。

(2) 放射線遮断用鉛板は、継ぎのある区画側に限り付ける。

(3) 区画処理を施した配管、ダクト等の吊り金物は、重量に十分耐えるものとする。
パイオクリンルーム、手すり、パイオバード、R1等の必要に設ける配管、
ボックス、被覆等は、他の室との汚染空気流入を防止するためシール材の充填
及びパッキンの使用等、気密保持に必要な処理を行う。

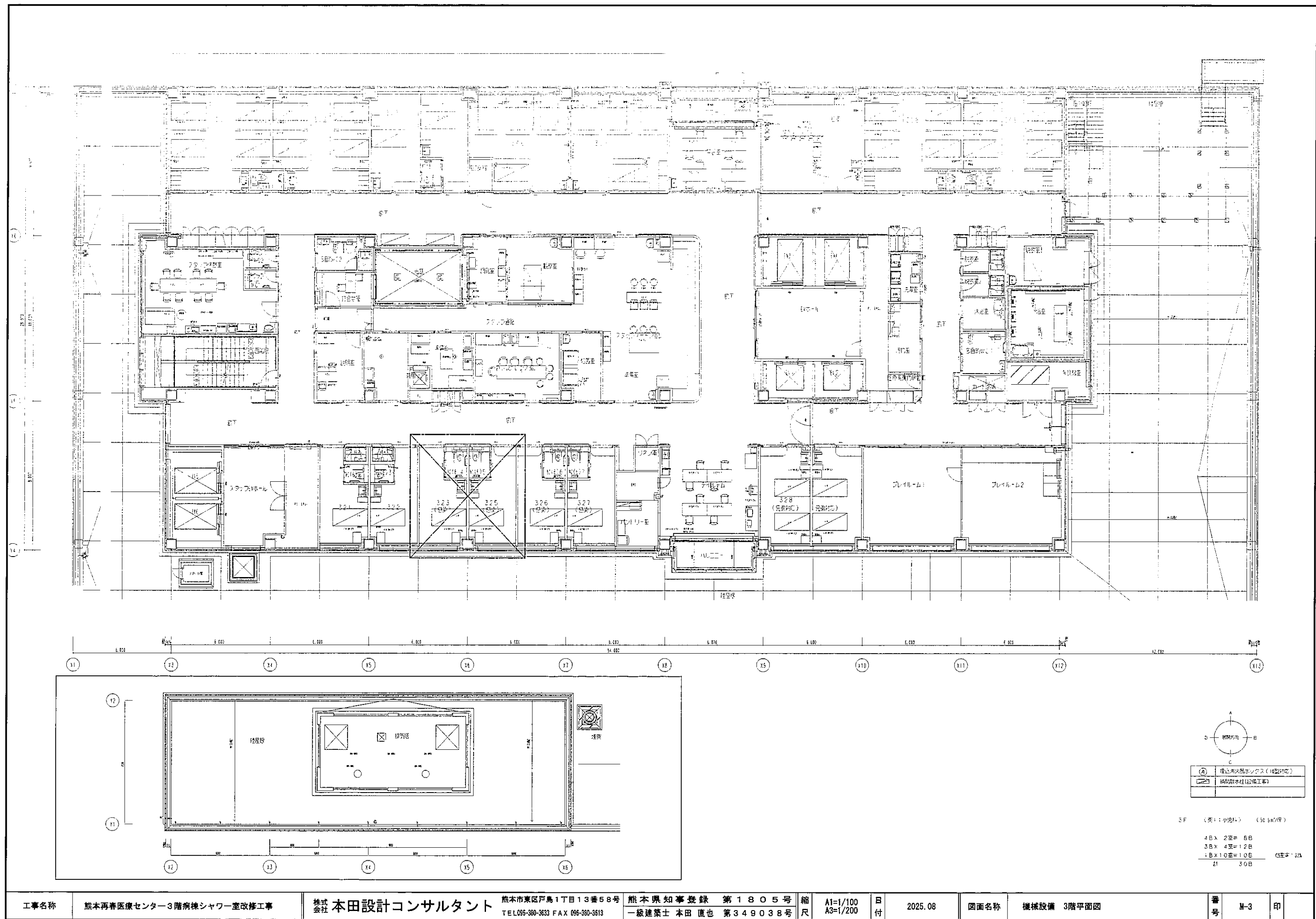
床下200mm以内の配管支持金物は、ステンレス鋼材製を使用する。

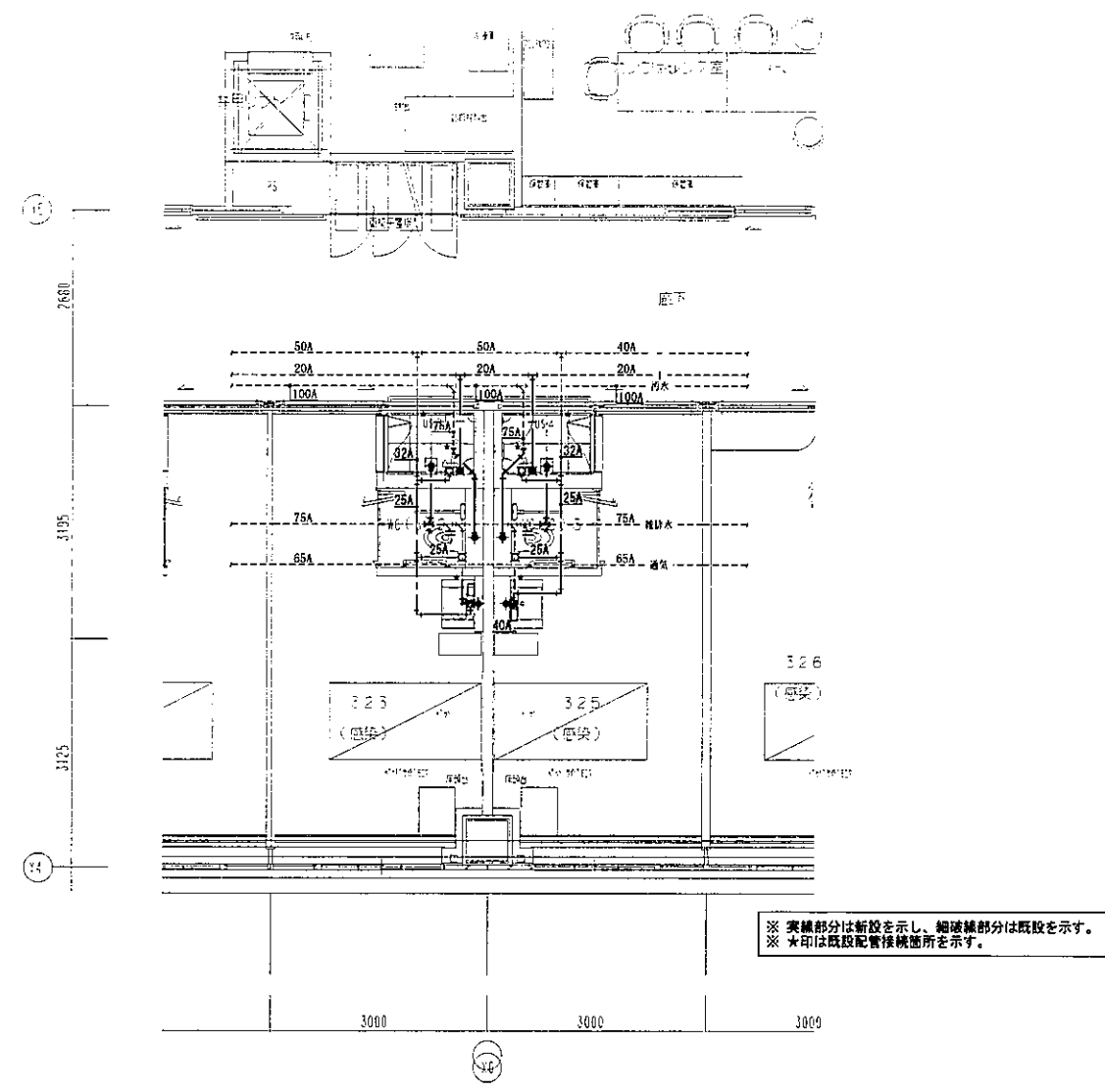
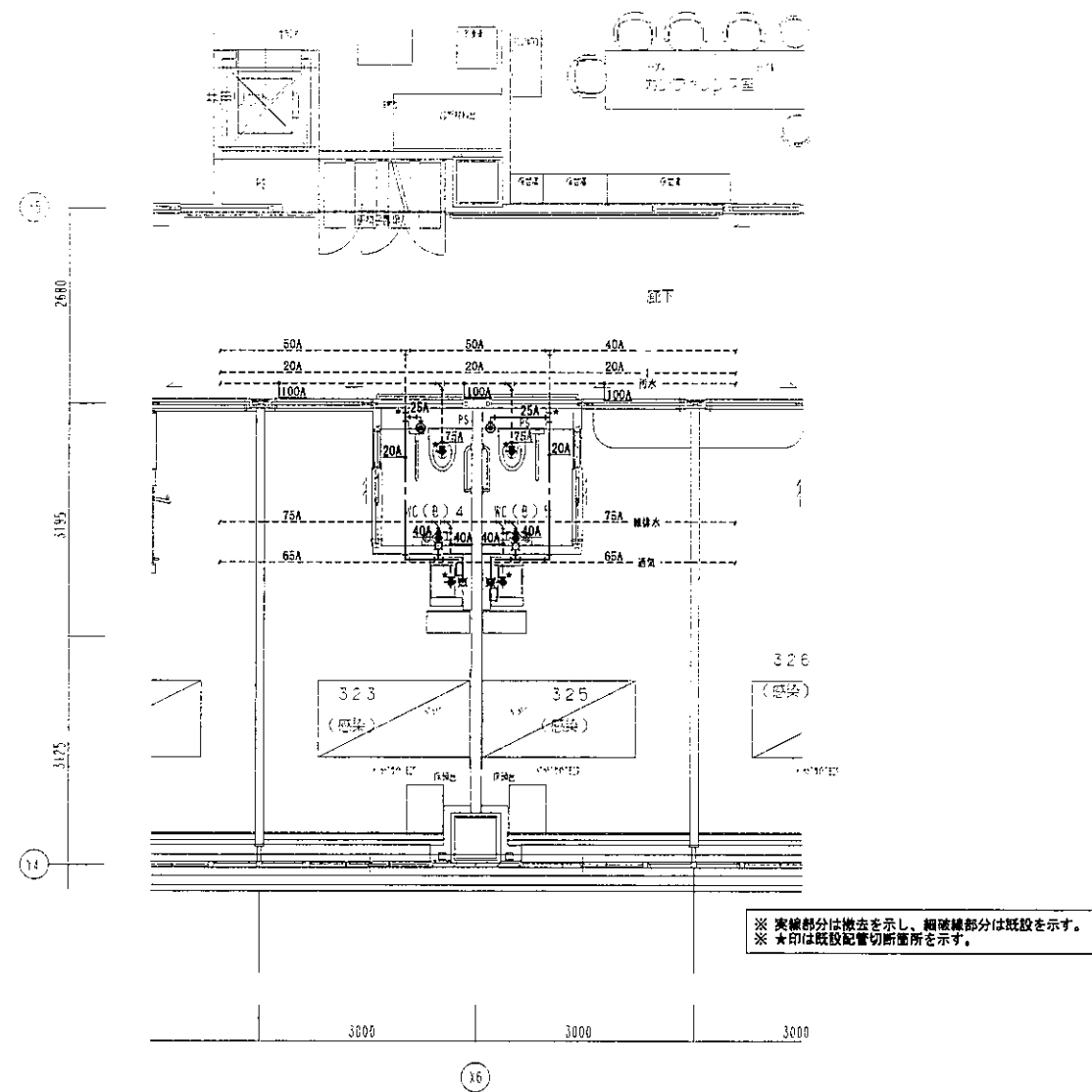
耐震衝突試験基準 (JRA-9002) による (○耐衝撃仕様 ○耐震衝撃仕様)
とする。また、寒冷地については、凍害及び雪害対策を行う。

図面による環境物品の調達に準拠する法律 (グリーン購入法) に基づき、
機械設備工事における環境物品等の使用の推進を図ること。

建設設備工事における環境物品等の使用の推進を図ること。

[illegible]



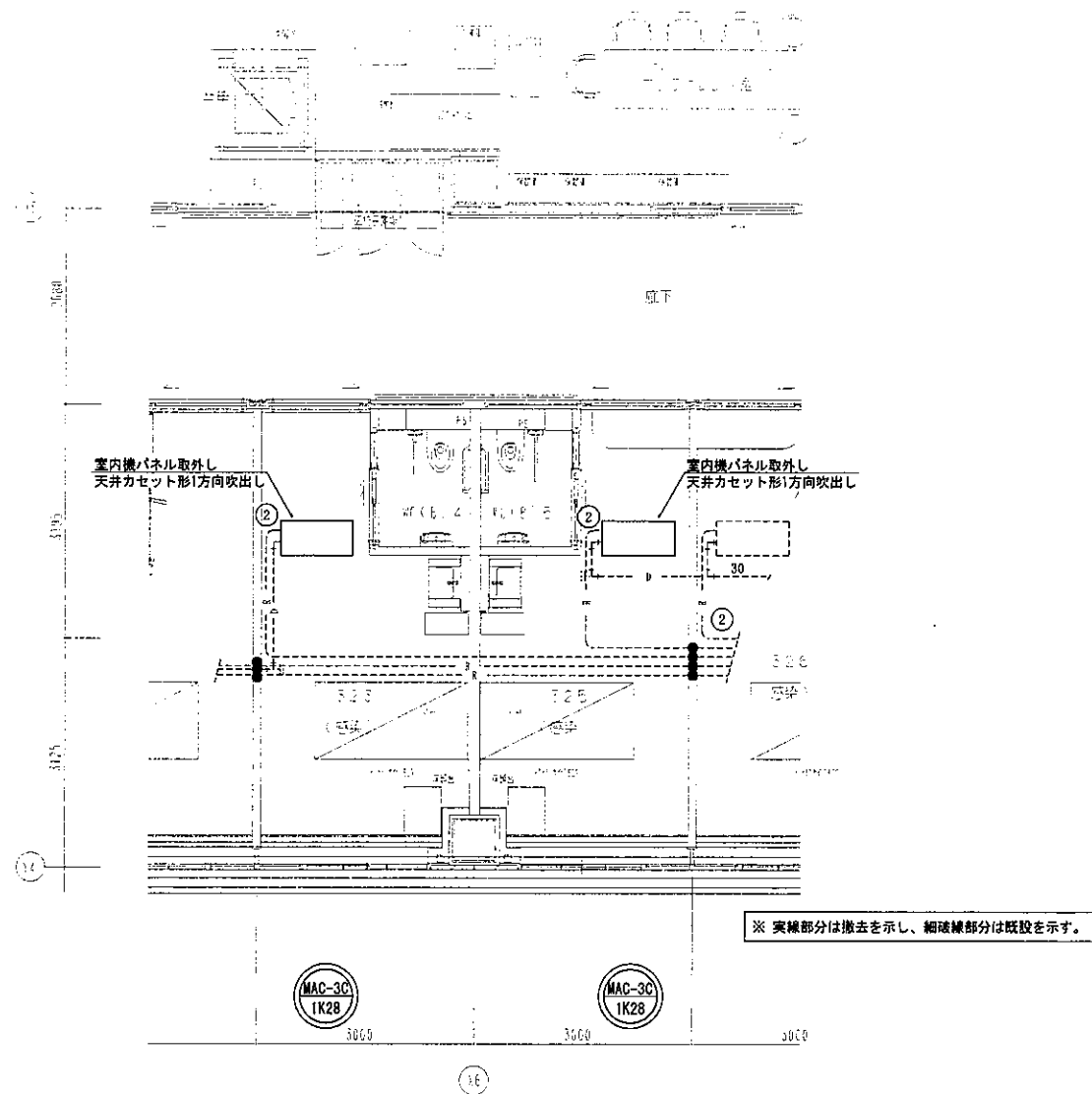


(改修前)衛生器具表		衛生器具等の給水は井戸水を使用。							
器 具 名 称	参考型番 (TOTO)	仕 様 (付 属 品)	電 源	電 気 容 量	合 計	3階			備 考
						病棟(小児科)			
						1床			
						323			
						325			
洋風大便器	C550SU	TCF5533P, TES47U, YH702, TEFV80UH	1φ100V	320W	2	2			取外し
壁掛洗面器	MVHG	REAK03A1SS84GK, OF穴無, 壁給排水 (マブライタカンテ-765L用)	1φ100V	600W	2	2			取外し
壁掛手洗器	LSE870AP	オーバーフロー無	1φ100V	5W	2	2			撤去
化粧鏡	YMK52K	480×1100			2	2			取外し
ペーパータオルホルダー	YKT100R				2	2			取外し
L形手すり					2	2			取外し
跳ね上げ手すり					2	2			取外し

※電気温水器の転倒防止対策については告示1447号の基準に適合させること。

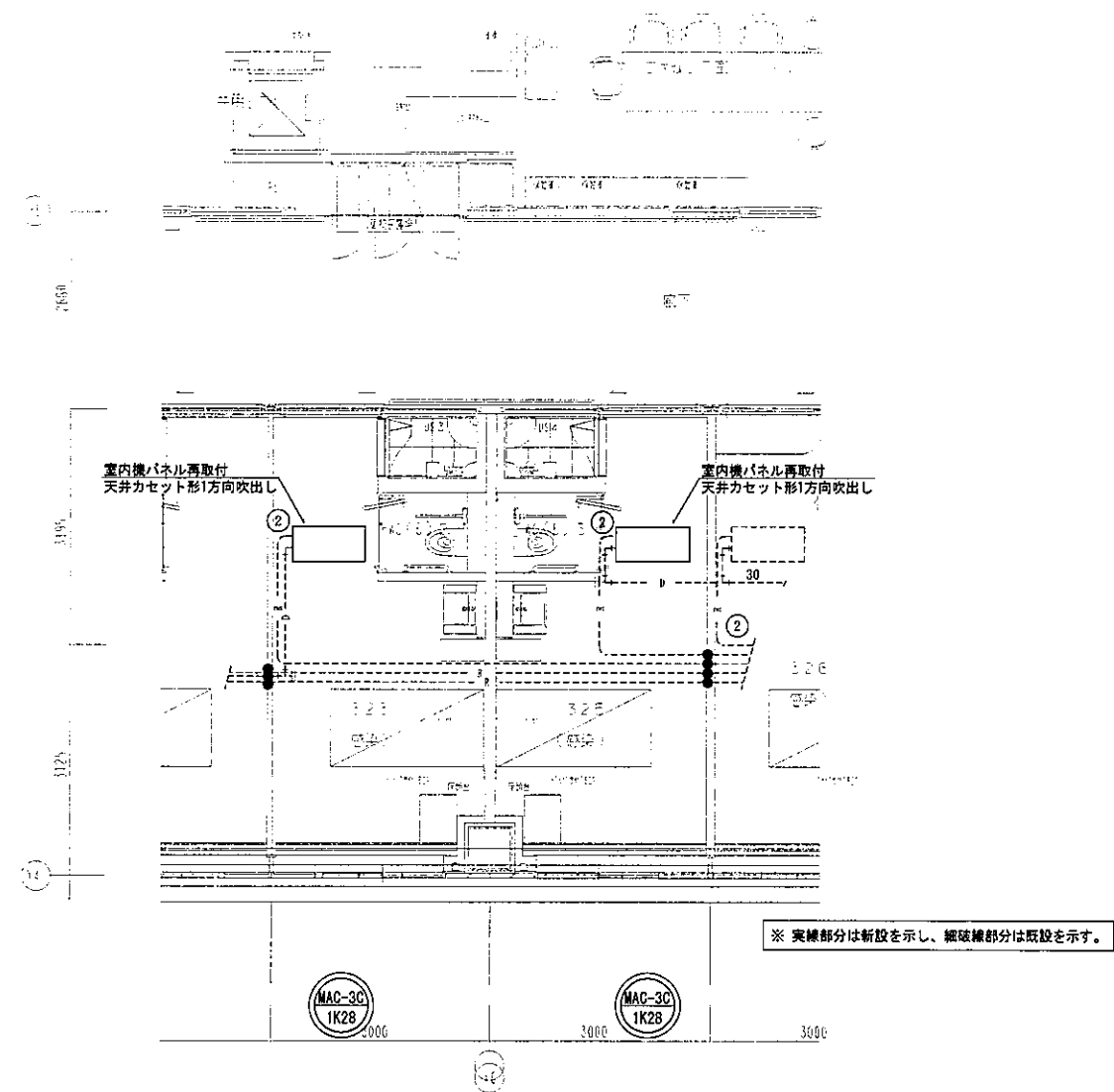
(改修後)衛生器具表		衛生器具等の給水は井戸水を使用。									
器 具 名 称	参考型番 (TOTO)	仕 様 (付 属 品)	電 源	電 気 容 量	合 計	3階			備 考		
						病棟(小児科)					
						1床					
						323					
						325					
洋風大便器	C550SU	TGF5533P, TES47U, YH702, TEFV80UH	1φ100V	320W	2	2				再取付	
壁掛洗面器	MVHG	REAK03A1SS84GK, OF穴無, 壁給排水 (マブ ライトカンテ-765L用)	1φ100V	600W	2	2				再取付	
化粧鏡	YMK52K	480×1100			2	2				再取付	
ペーパータオルホルダー	YKT100R				2	2				再取付	
L形手すり					2	2				再取付	
跳ね上げ手すり					2	2				再取付	
ユニットシャワー	JSV0812UTW5BK	HDR37, DHE00, AHV02, KNR7T			2	2				新設	

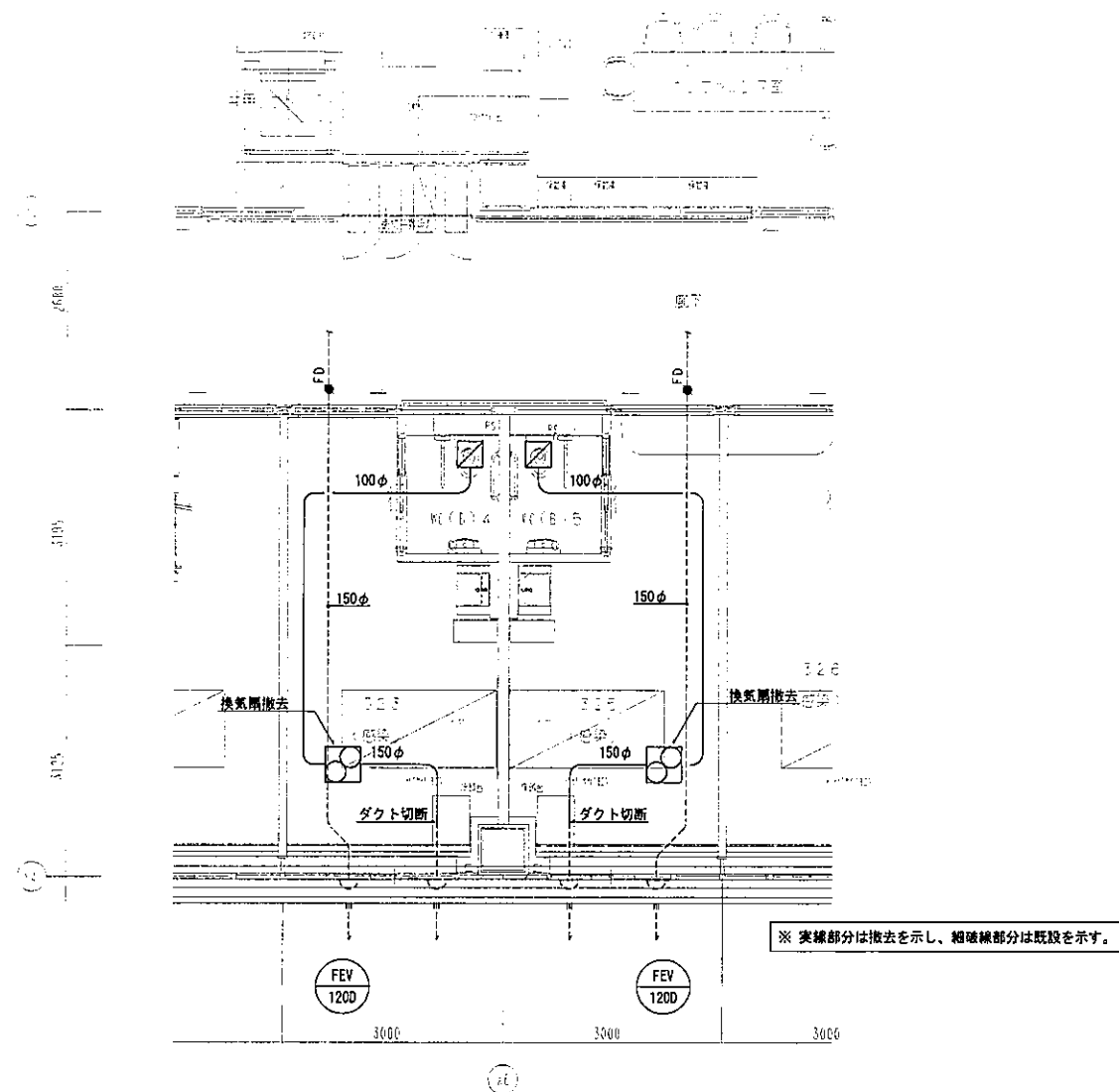
※電気温水器の転倒防止対策については告示1447号の基準に適合させること。



(改修前)冷暖房機器表

記号	名称	台数	機器仕様	相電圧 (φ)	電圧 (V)	容量 (kW)	備考 (室外機系統・設置場所)
MAC-3C-1K28	空冷ヒートポンプ	2	電気式 1方向天井カセット型	1	200	FAN(内)	0.028
	マルチエアコン室内機		冷暖能力 2.8 kW 暖房能力 3.2 kW			消費電力(冷)	0.037
			リモコンスイッチ、化粧パネル、ドレンアップポンプ、他付属品一式共			消費電力(暖)	0.037



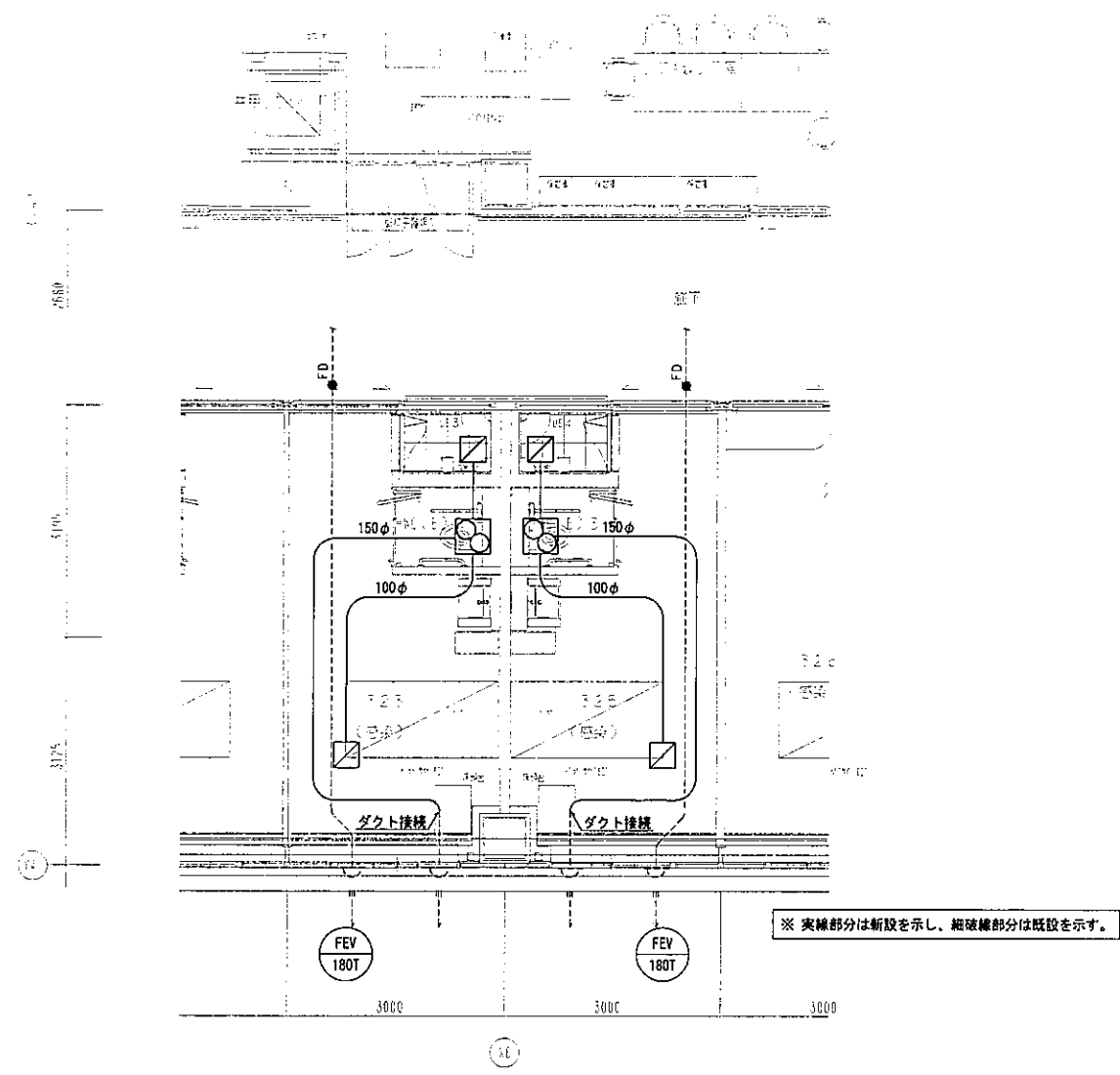


(改修前)換気機器表

記 号	名 称	台数	機 器 仕 様	相 電圧 (V)	容 量 (W)	備 考 (設置場所)
FEV-120D	天井扇	2	低騒音形 2部屋用換気扇	100	消費電力 49.0	3階 1床室
			風量 120 m³/h × 80 Pa			

(改修前)制気口リスト

階	室 名	系 統	風 量				制 気 口						備 考	
			SA	RA	OA	EA	種 類	寸 法	個	制気口ボックス W X D X H	ボックス内貼			
			m³/h	m³/h	m³/h	m³/h					無	GW25t		GW50t
3	323.325 WC	FEV-120D				60	GVS	150x150	2	150x150x400	○			取外し



(改修後)換気機器表

記 号	名 称	台数	機 器 仕 様	相 電圧 (V)	容 量 (W)	備 考 (設置場所)
FEV-180T	天井扇	2	低騒音形 3部屋用換気扇	100	消費電力 49.0	3階 1床室
			風量 180 m³/h × 100 Pa			

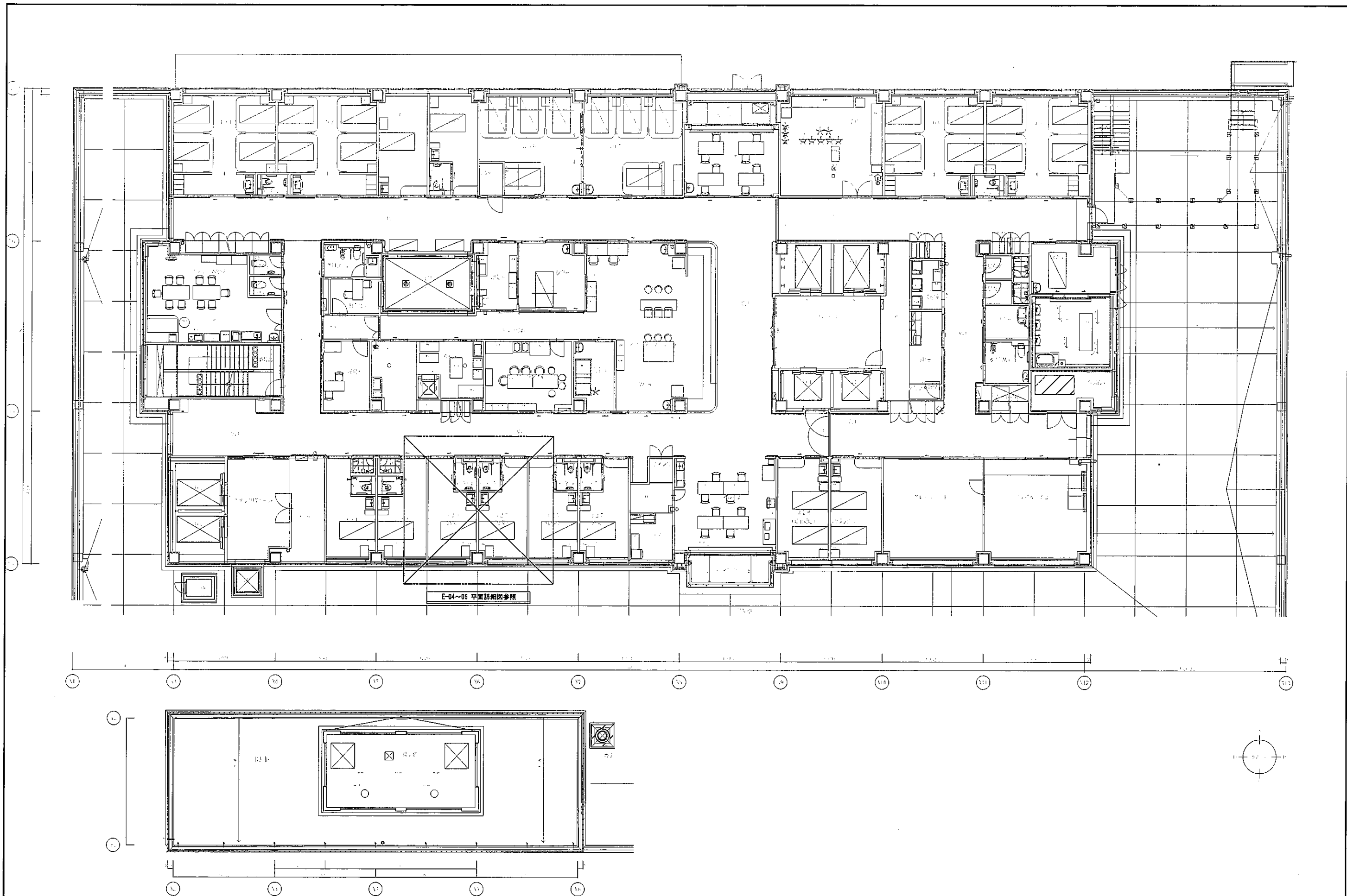
(改修前)制気口リスト

階	室 名	系 統	風 量				制 気 口					備 考		
			SA	RA	OA	EA	種 類	寸 法	個	制気口ボックス W X D X H	ボックス内貼			
			m³/h	m³/h	m³/h	m³/h					無		GW25t	GW50t
3	323,325 WC	FEV-180T				60	GVS	150x150	2	150x150x400	○			再利用
						60	GVS	150x150	2	150x150x400	○			新設

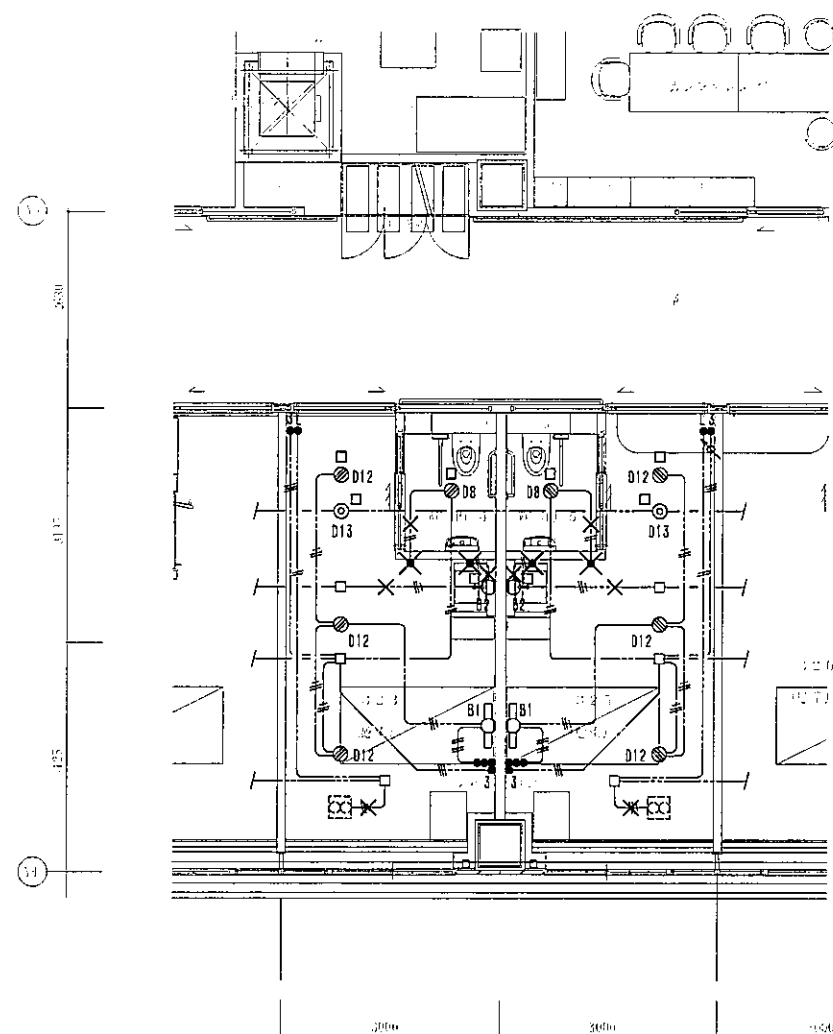
R6.7 独立行政法人国立病院機構

	名 称	測 点	取付高(mm)
電力共通	取引用計器	地上～窓中心	1,800～2,000
	引込開閉器	地上～中心	1,800～2,200
	分電盤	床土～中心	1,500 (上縁1,500以下)
電 灯	スイッチ	床土～中心	1,300
	スイッチ(多機能トイ)	床土～中心	1,100
	コンセント(一般)	床土～中心	200
	コンセント(和室)	床土～中心	200～300
	コンセント(台上)	台上縁～中心	150～200
	コンセント(土間)	床土～中心	800～1,300
	コンセント(箆縁子用)	床土～中心	800
	コンセント(商業施設用ベット上縁)	床土～中心	1,200又は1,300
	コンセント(診察室)	床土～中心	1,000
	コンセント(X-TRV照準灯)	床土～中心	1,000
	コンセント(廚房)	床土～中心	1,000
	コンセント(検査室)	床土～中心	1,000
	接地端子盤	床土～中心	500
	医用接地センタ	床土～中心	300
	医用接地端子	床土～中心	300～1,300 (医用コンセントと整合)
	シャウカステン(製理込)	床土～中心	1,500 (手洗、救急患者室等)
		床土～中心	1,200 (外来診療室等)
	ブラケット(一般)	床土～中心	2,100～2,300
	ブラケット(臨場)	床土～中心	2,000～2,500
	ブラケット(鏡上)	鏡上縁～中心	150
	ブラケット(鏡上)	鏡上縁～中心	150
	ブラケット(墨側)	GLー中心	2,400
	ブラケット(浴室)	床土～中心	2,000
	夜間灯	床土～中心	2,000
	表示灯	床土～中心	2,200
	商業ベントランプ(アーム型)	床土～774トリット中心	1,200又は1,300
	商業ベントランプ(ブラケット型)	床土～中心	1,400
	商業ベントランプ(ベット取付型)	床土～774トリット中心	1,200
動 力	壁掛け射撃盤	床土～中心	1,500 (上縁1,600以下)
	防犯カメラ	床土～中心	3500
	射撃用スイッチ	床土～中心	1,300
換 気 交 換	換気室(室内)	床土～中心	1,300
	集合保安設備	天井下～上縁	200
	壁付アウトレット(一般)	床土～中心	1,000
測 計	壁掛け用線子盤	床土～中心	750
	壁掛け射撃計	床土～中心	1,500(上縁1,600以下)
	予備計	床土～中心	天井高×0.9
	時間測定器(複合式一体型)	床土～中心	1,500
	時間測定器(複合式分置型)	床土～中心	天井高×0.9
	間上換気スイッチ部	床土～中心	1,300
拡 声	壁掛けスピーカ	床土～中心	天井高×0.9
	壁付アンテナ	床土～中心	1,300
出 入 ・マルチサイン	情報表示盤	床土～中心	天井高×0.9
	壁付発信機	床土～中心	1,300
	ベルブザー・チャイム	床土～中心	2,300
排 水 支 保	壁付押ボタン(一般)	床土～中心	1,300
	外観受付用インターホン(子機)		標準階層による
	外観受付用インターホン(モニター台)(子機)	床土～中心	1,400
呼 出	外観受付用インターホン(子機)	床土～中心	1,100～1,400
	壁付インターホン(上記以外)	床土～中心	1,300
	壁付呼出ボタン(多機能トイ)	床土～中心	900及び300(※1)
ナースコール	壁掛け呼出装置	床土～中心	1,300
	呼出用ジャック(壁付)	床土～中心	1,000
	壁掛けナースコール装置	床土～中心	1,400
ナースコール	壁付ナースコール子機(一般)	床土～中心	1,300
	計測形ナースコール子機	床土～中心	1,200
	壁付ナースコール子機	床土～中心	1,400 (マイク、スピーカ 一体型で立って通話)
	信号受信装置(押ボタンなし)	床土～中心	2,200
	ナースコール兼灯(丸形)	床土～中心	2,000
	ナースコール兼灯(雲形)	床土～中心	2,000
	ナースコール兼灯(患者氏名取付形)	床土～中心	1,500～1,600 (壁付ボタン付)
	ナースコール押ボタン(一般)	床土～中心	1,300
	ナースコール押ボタン(復旧)	床土～中心	1,200又は1,300
	ナースコール押ボタン(原形)	床土～中心	600(和室専用) 800(洋室専用) 1,200(差込押ボタン)
	病床ユニット	床土～中心	1,300 (単独設置の場合)
	テレビ共同受信	天井下～上縁	200
テレビ共同受信	壁掛け受信機	天井下～上縁	200
	テレビ端子直列ユニット(一般)	床土～中心	300又は1,300
	テレビ端子直列ユニット(和室)	床土～中心	200～300
自動火災報知	受信機・計受信機	床土～中心	800～1,500
	地震感知機	床土～中心	800～1,500
	防煙機	床土～中心	800～1,500
	警報ベル	床土～中心	2,300
	表示灯	床土～中心	2,100
	試験機	床土～中心	1,300
	検査機	床土～中心	2,000
	自動警報装置運動制御器	床土～中心	800～1,500
	ガス濃度受信機・表示器	床土～中心	800～1,500
	ガス濃度中継器	床土～中心	2,000
ガス濃度 火災警報	ガス濃度検知器(プロパンガス)	床土～中心	300以内
	ガス濃度検知器(都市ガス)	天井下～上縁	3

機 材 名	製造業者等名
照明器具	
照明制御装置	
可変速度電動機用インバータ装置	
分電盤	
制御盤	
キュービクル式配電盤	
高圧スイッチギヤ(CW形)	
高圧スイッチギヤ(PW形)	
高圧交流変断器	
高圧進相コンデンサ	
高圧線路ヒューズ	
高圧負荷開閉器	
高圧変圧器(特変機器)	
交流無停電電源装置	
太陽光発電装置(パワーコンディショナ及び系統連系保護装置)	
監視カメラ装置	
中央監視制御(監視制御装置)	



工事名称	熊本再春医療センター3階病棟シャワー室改修工事	株式会社 本田設計コンサルタント 熊本市東区戸島1丁目13番58号 TEL 096-380-3633 FAX 096-380-3613	熊本県知事登録 第1805号 一級建築士 本田 直也 第349038号	縮尺 A1=1/100 A3=1/200	日付 2025.07	図面名称 電気設備 平面図	番号 E-03	印
------	-------------------------	---	--	----------------------------	---------------	------------------	------------	---

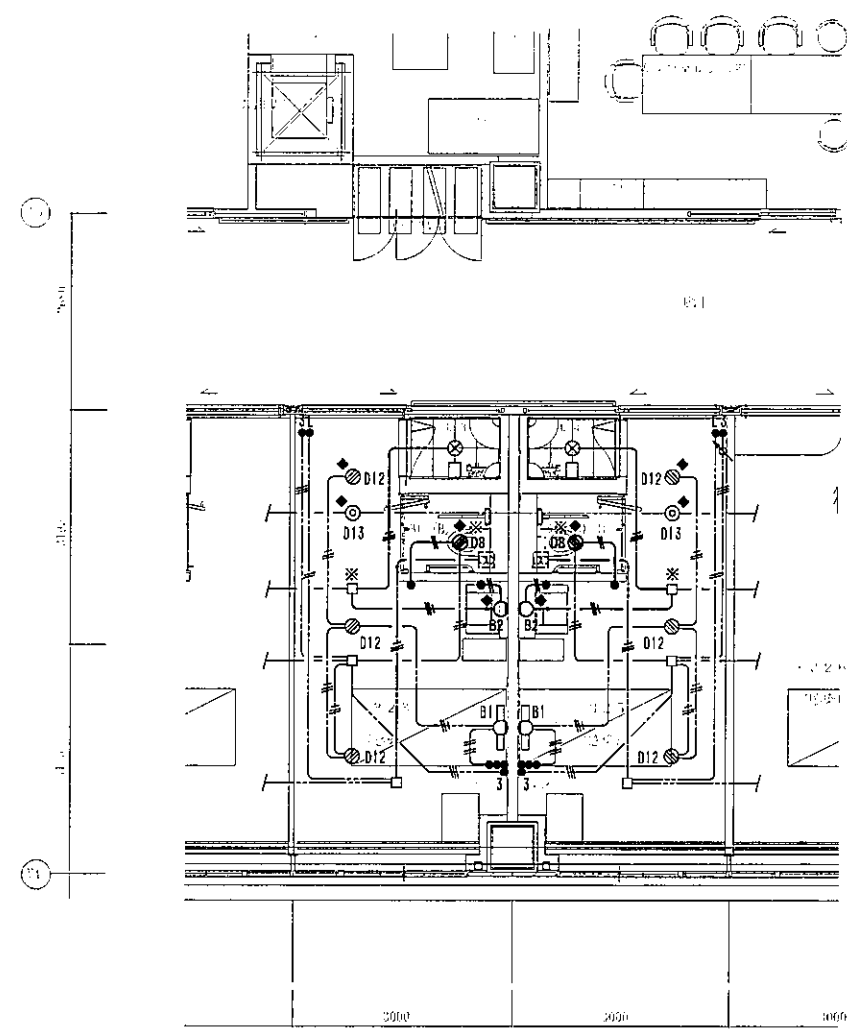


電灯設備平面詳細図 SC=1/50
(改修前：撤去)

撤去器具凡例	
記号	名称
B1	照明器具 LED36W ホスピタルブラケット
B2	照明器具 LED5.5W ブラケット
D8	照明器具 LED8.0W 埋込灯
D12	照明器具 LED8.0W 埋込灯
D13	照明器具 LED0.7W 埋込灯 (常夜灯)
H-2	照明器具 FL20W×1 露出型 (L=900)
●	埋込スイッチ 1P15A×1
●1	埋込スイッチ 1P15A×1 L付
●3	埋込スイッチ 3W15A×1
□	位置ボックス (OB)
—V—	VVF1.6-2C (PF16)
—V—	VVF1.6-3C (PF16)
—V—	VVF1.6-2C×2 (PF22)
—V—	VVF1.6-3C (PF16)

撤去凡例	
記号・凡例	名称
×	撤去器具、配線を示す
□	移設器具を示す
※特記なき配線、器具は現状のままとする	
※特記なき配線、器具で不要と思われるものは監督員と協議の上、撤去を行うこと	

※本工程エリア外の機器停止等があれば迅速に切替若しくは仮設配線等を整備すること。

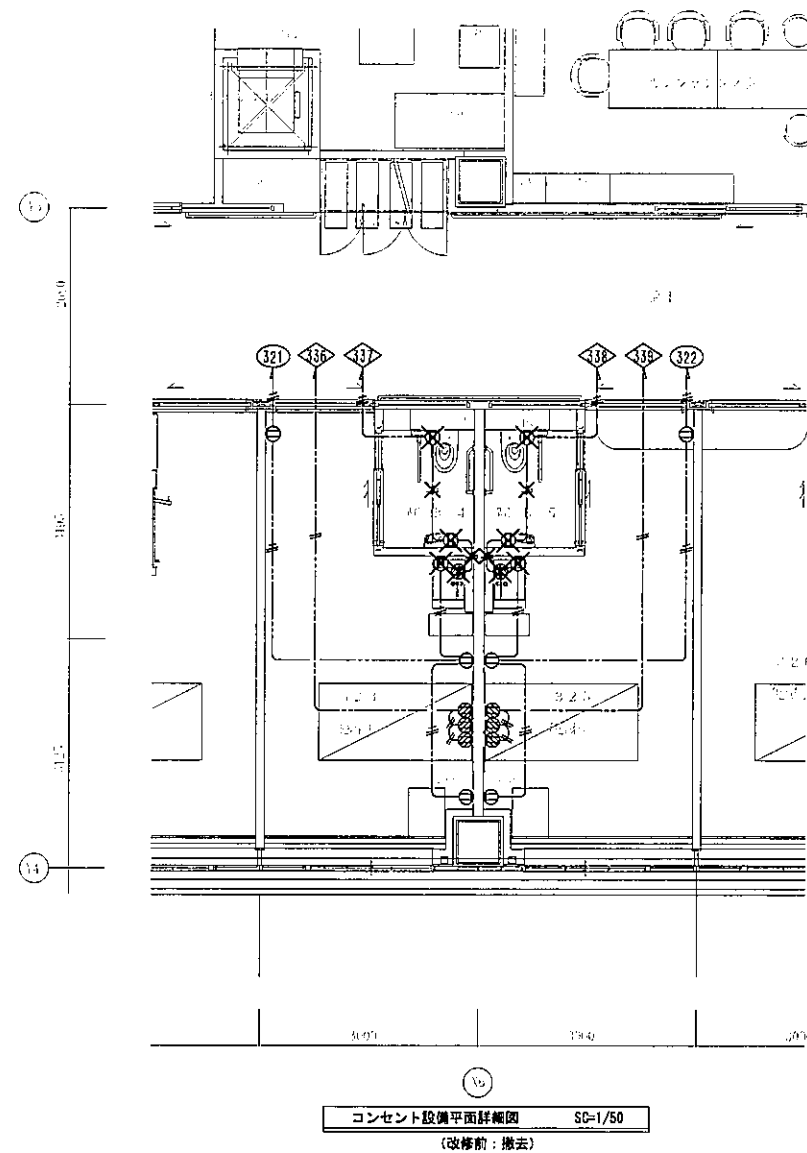


電灯設備平面詳細図 SC=1/50
(改修後)

凡例		
記号	名称	摘要
●	埋込スイッチ	1P15A×1 (樹脂P共)
B2	既設器具 LED5.5Wブラケット	
D8	既設器具 LED8.0W埋込灯	
※	既設配線接続を示す	
◆	既設器具取付を示す	

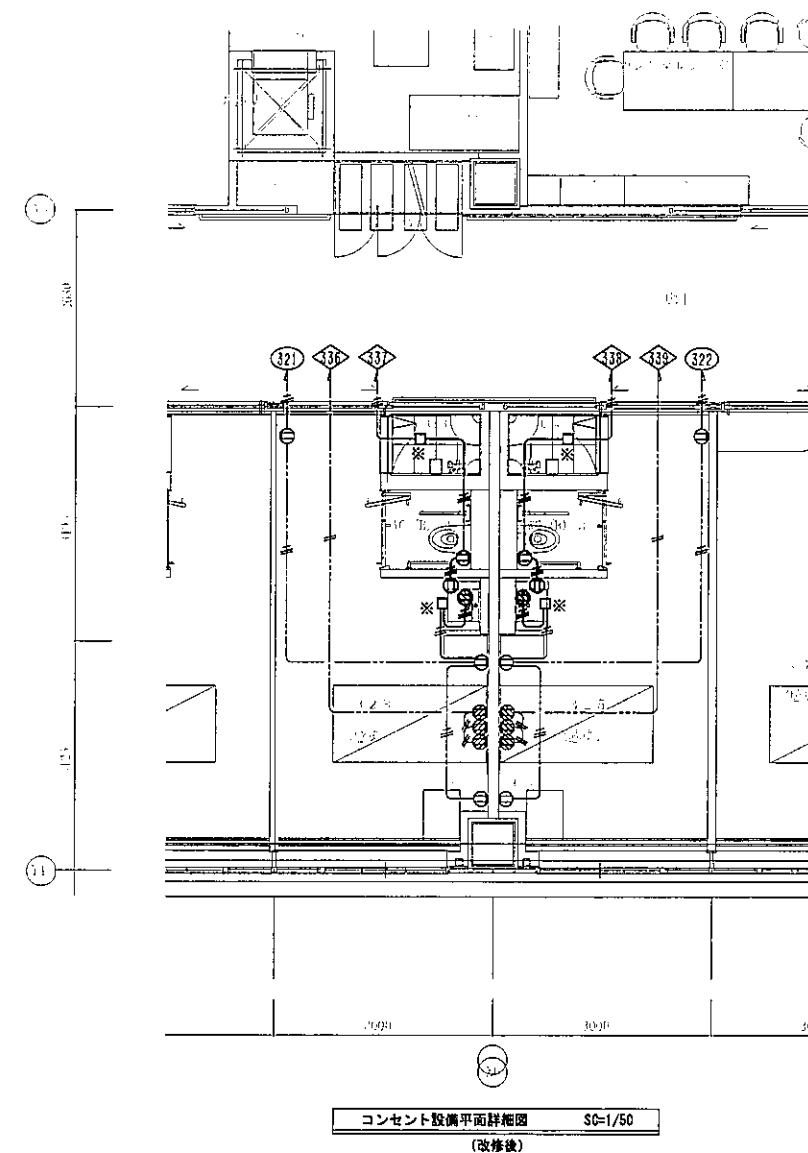
—	濃線：増設及び新設を示す
—	薄線：既設機器及び配線を示す

(特記事項)	
1. 図中特記なき配線は下記による。	
—V—	EN-EEF1.6-2C (コロガシ)
—V—	EN-EEF1.6-3C (コロガシ)
2. 立下げはP管にて保護すること	



撤去器具凡例	
記号	
①	埋込コンセント 2P15A×2E極付
②	埋込コンセント 2P15A×2E極付 (GAC回路)
—W—	VVF2.0-3C (PF22)

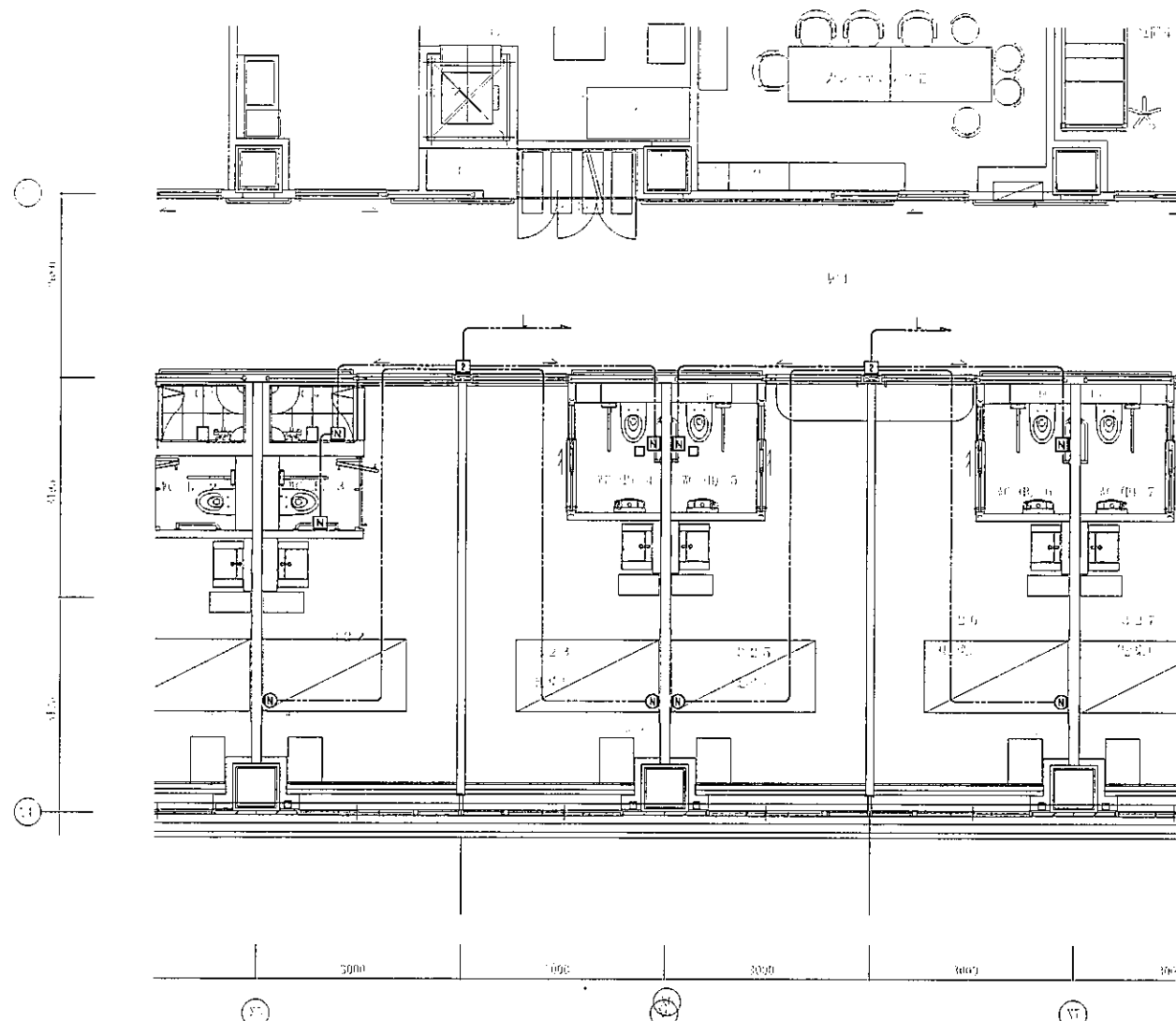
撤去凡例	
記号・凡例	名称
×	撤去器具、配線を示す
※特記なき配線、器具は現状のままとする	
※特記なき配線、器具で不要と思われるものは監督員と協議の上、撤去を行うこと	
※本工程エリア外の機器停止等があれば迅速に切替若しくは仮設配線等を整備すること。	



凡例		
記号	名称	概要
①	埋込コンセント	2P15A×2E極付 (樹脂P共)
②	埋込コンセント (JIS-T1021)	2P15A×2E極付 GAC回路 (樹脂P共)
□	位置ボックス (OB)	
※	既設配線接続を示す	

—	遺線：増設及び新設を示す
—	薄線：既設機器及び配線を示す

(特記事項)	
1. 図中特記なき配線は下記による。	
—W—	EN-EF2.0-3C (コログシ)
2. 立下げはP管にて保護すること	

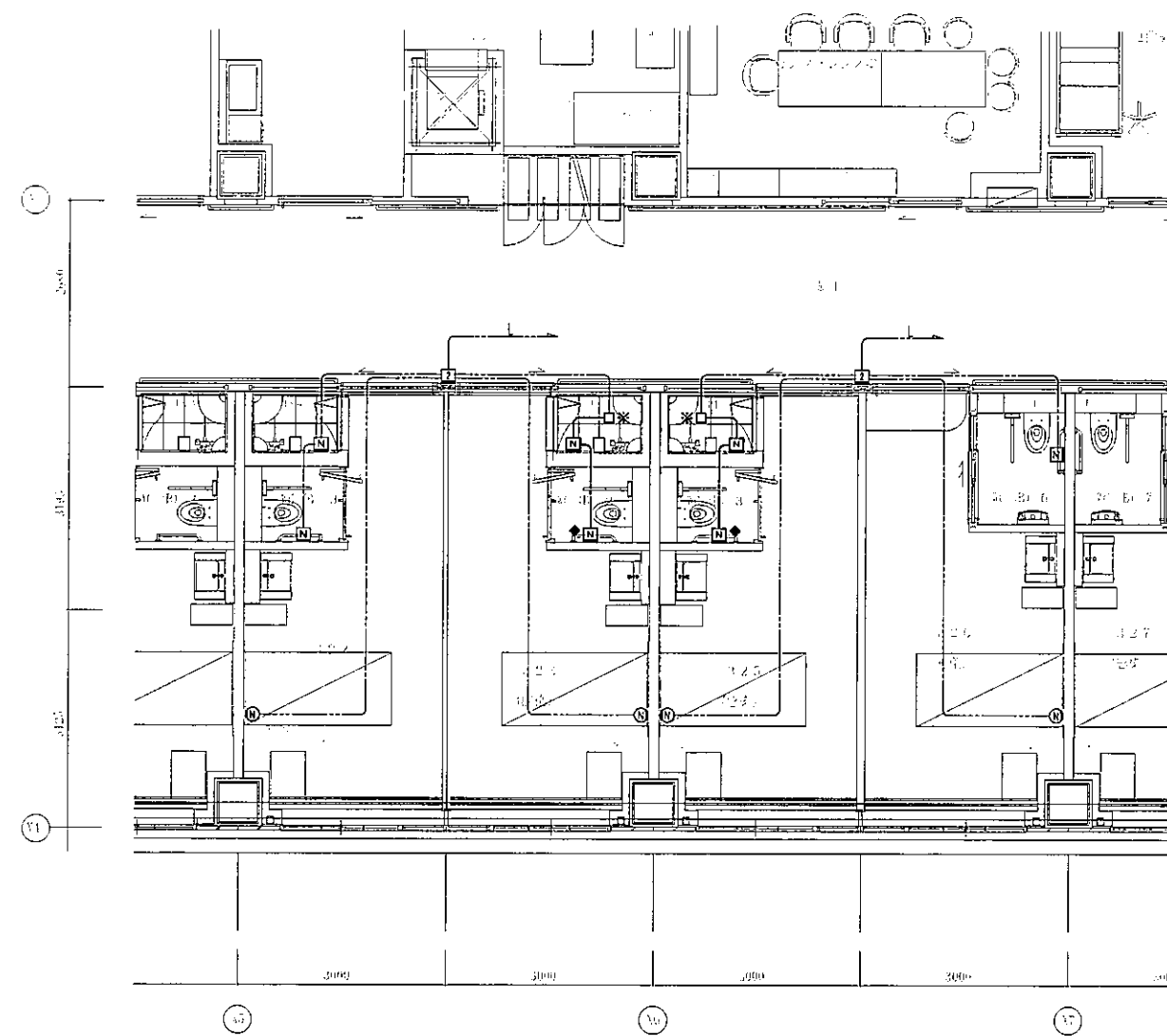


ナースコール設備平面詳細図 SC=1/50
(改修前：撤去)

撤去器具凡例	
記号	名称
[N]	呼出ボタン
[Z]	液晶表示灯2窓
[O]	子機・呼出機りボタン
—	AE0.9-20 (PF22)
L —	UTP0.5CAT5e (PF16)

撤去凡例	
記号・凡例	名称
×	撤去器具、配線を示す
□	移設器具を示す
※特記なき配線、器具は現況のままとする	
※特記なき配線、器具で不要と思われるものは監査員と協議の上、撤去を行うこと	

※本工事エリア外の機器停止等があれば迅速に切替若しくは仮設配線等を整備すること。



ナースコール設備平面詳細図 SC=1/50
(改修後)

呼出ボタン		
凡例	名称	摘要
[N]	呼出ボタン	
※	既設配線接続を示す	
◆	既設器具取付を示す	

—	濃線：増設及び新設を示す
—	薄線：既設機器及び配線を示す

(特記事項)	
1. 図中特記なき配線は下記による。	
—	EM-AE0.9-20 (コロガシ)
2. 立下げはPP管にて保護すること	